

令和6年度

主要施策成果報告書
(一般会計・特別会計)

尾張旭市

令和 6 年度決算に係る主要施策の成果及び基金の運用状況について

令和 6 年度尾張旭市一般会計及び特別会計の決算を議会の認定に付するに当たり、主要施策の成果及び基金の運用状況について、地方自治法（昭和 2 2 年法律第 6 7 号）第 2 3 3 条第 5 項及び同法第 2 4 1 条第 5 項の規定により提出します。

令和 7 年 9 月 1 日

尾張旭市長 柴 田 浩

目 次

1	令和6年度決算総括表	4
2	令和6年度一般会計歳入歳出決算	5
3	普通会計決算に基づく財政力及び財政構造の状況	1 2
4	令和6年度決算に係る主要施策の成果	1 3
	市長公室	1 4
	企画部	1 8
	総務部	2 1
	市民生活部	2 8
	健康福祉部	4 0
	こども子育て部	6 2
	都市整備部	6 6
	消防本部	7 7
	教育委員会	7 9
5	定額運用基金の状況	9 0
6	資料編	9 2

各表の比率は、表示単位未満を四捨五入しているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

1 令和6年度決算総括表

(歳入)

(単位 円)

区分		令和6年度	令和5年度	差引増減	増減率(%)
一般会計		31,201,019,369	30,230,797,364	970,222,005	3.2
特別会計	国民健康保険	7,137,069,058	7,007,491,140	129,577,918	1.8
	土地取得	153,599,057	195,793,901	△ 42,194,844	△ 21.6
	旭平和墓園事業	41,138,095	69,303,848	△ 28,165,753	△ 40.6
	介護保険	6,945,225,673	6,201,449,132	743,776,541	12.0
	後期高齢者医療	1,734,310,423	1,473,448,626	260,861,797	17.7
	小計	16,011,342,306	14,947,486,647	1,063,855,659	7.1
合計		47,212,361,675	45,178,284,011	2,034,077,664	4.5

(歳出)

(単位 円)

区分		令和6年度	令和5年度	差引増減	増減率(%)
一般会計		29,635,893,336	28,779,238,098	856,655,238	3.0
特別会計	国民健康保険	7,109,207,754	7,048,218,471	60,989,283	0.9
	土地取得	153,599,057	195,793,901	△ 42,194,844	△ 21.6
	旭平和墓園事業	39,809,568	59,014,481	△ 19,204,913	△ 32.5
	介護保険	6,791,717,024	6,133,486,804	658,230,220	10.7
	後期高齢者医療	1,724,641,469	1,462,983,272	261,658,197	17.9
	小計	15,818,974,872	14,899,496,929	919,477,943	6.2
合計		45,454,868,208	43,678,735,027	1,776,133,181	4.1

2 令和6年度一般会計歳入歳出決算

(1) 歳入決算の状況

(単位 円)

款	項	令和6年度	令和5年度	差引増減	増減率(%)
1 市税		12,800,912,221	12,794,142,903	6,769,318	0.1
	1 市民税	6,034,603,462	6,094,769,055	△ 60,165,593	△ 1.0
	2 固定資産税	4,985,961,827	4,935,092,061	50,869,766	1.0
	3 軽自動車税	195,562,017	180,711,784	14,850,233	8.2
	4 市たばこ税	469,135,286	482,281,191	△ 13,145,905	△ 2.7
	5 都市計画税	1,115,649,629	1,101,288,812	14,360,817	1.3
2 地方譲与税		192,386,000	191,469,000	917,000	0.5
	1 地方揮発油譲与税	44,615,000	45,156,000	△ 541,000	△ 1.2
	2 自動車重量譲与税	136,535,000	136,133,000	402,000	0.3
	3 森林環境譲与税	11,236,000	10,180,000	1,056,000	10.4
3 利子割交付金		8,239,000	6,011,000	2,228,000	37.1
	1 利子割交付金	8,239,000	6,011,000	2,228,000	37.1
4 配当割交付金		168,987,000	125,034,000	43,953,000	35.2
	1 配当割交付金	168,987,000	125,034,000	43,953,000	35.2
5 株式等譲渡所得割交付金		224,700,000	129,110,000	95,590,000	74.0
	1 株式等譲渡所得割交付金	224,700,000	129,110,000	95,590,000	74.0
6 法人事業税交付金		234,724,000	176,934,000	57,790,000	32.7
	1 法人事業税交付金	234,724,000	176,934,000	57,790,000	32.7
7 地方消費税交付金		2,000,750,000	1,910,868,000	89,882,000	4.7
	1 地方消費税交付金	2,000,750,000	1,910,868,000	89,882,000	4.7

款	項	令和6年度	令和5年度	差引増減	増減率(%)
8 ゴルフ場利用税交付金		21,129,326	21,165,554	△ 36,228	△ 0.2
	1 ゴルフ場利用税交付金	21,129,326	21,165,554	△ 36,228	△ 0.2
9 環境性能割交付金		53,440,000	45,943,903	7,496,097	16.3
	1 環境性能割交付金	53,440,000	45,943,903	7,496,097	16.3
10 地方特例交付金		531,115,000	132,984,000	398,131,000	299.4
	1 地方特例交付金	529,665,000	131,879,000	397,786,000	301.6
	2 新型コロナウイルス感染症対策 地方税減収補填特別交付金	1,450,000	1,105,000	345,000	31.2
11 地方交付税		3,101,767,000	2,664,719,000	437,048,000	16.4
	1 地方交付税	3,101,767,000	2,664,719,000	437,048,000	16.4
12 交通安全対策特別交付金		9,693,000	10,297,000	△ 604,000	△ 5.9
	1 交通安全対策特別交付金	9,693,000	10,297,000	△ 604,000	△ 5.9
13 分担金及び負担金		47,887,280	47,797,182	90,098	0.2
	1 負担金	47,887,280	47,797,182	90,098	0.2
14 使用料及び手数料		313,733,858	318,810,814	△ 5,076,956	△ 1.6
	1 使用料	260,899,103	264,779,309	△ 3,880,206	△ 1.5
	2 手数料	52,834,755	54,031,505	△ 1,196,750	△ 2.2
15 国庫支出金		4,917,010,803	4,791,581,707	125,429,096	2.6
	1 国庫負担金	3,011,088,264	2,743,072,453	268,015,811	9.8
	2 国庫補助金	1,886,768,200	2,028,369,405	△ 141,601,205	△ 7.0
	3 国庫委託金	19,154,339	20,139,849	△ 985,510	△ 4.9
16 県支出金		2,042,145,113	1,943,918,561	98,226,552	5.1
	1 県負担金	1,248,939,248	1,177,258,449	71,680,799	6.1

款	項	令和6年度	令和5年度	差引増減	増減率(%)
	2 県補助金	587,309,840	602,476,448	△ 15,166,608	△ 2.5
	3 県委託金	204,570,589	162,945,464	41,625,125	25.5
	4 県交付金	1,325,436	1,238,200	87,236	7.0
17 財産収入		73,506,356	524,225,240	△ 450,718,884	△ 86.0
	1 財産運用収入	36,222,932	35,882,518	340,414	0.9
	2 財産売却収入	37,283,424	488,342,722	△ 451,059,298	△ 92.4
18 寄附金		68,563,360	31,389,326	37,174,034	118.4
	1 寄附金	68,563,360	31,389,326	37,174,034	118.4
19 繰入金		919,793,000	463,846,220	455,946,780	98.3
	1 繰入金	919,793,000	463,846,220	455,946,780	98.3
20 繰越金		1,451,559,266	1,715,448,106	△ 263,888,840	△ 15.4
	1 繰越金	1,451,559,266	1,715,448,106	△ 263,888,840	△ 15.4
21 諸収入		1,015,183,765	934,416,904	80,766,861	8.6
	1 延滞金、加算金及び過料	10,439,112	9,467,891	971,221	10.3
	2 市預金利子	192,845	156,273	36,572	23.4
	3 貸付金元利収入	183,039,737	183,003,474	36,263	0.0
	4 受託事業収入	59,099,943	60,368,646	△ 1,268,703	△ 2.1
	5 雑入	762,412,128	681,420,620	80,991,508	11.9
22 市債		1,001,053,000	1,250,318,000	△ 249,265,000	△ 19.9
	1 市債	1,001,053,000	1,250,318,000	△ 249,265,000	△ 19.9
23 自動車取得税交付金		2,741,021	366,944	2,374,077	647.0
	1 自動車取得税交付金	2,741,021	366,944	2,374,077	647.0
歳 入 合 計		31,201,019,369	30,230,797,364	970,222,005	3.2

(2) 歳出決算の状況

(単位 円)

款	項	令和6年度	令和5年度	差引増減	増減率(%)
1 議会費		244,264,103	236,072,165	8,191,938	3.5
	1 議会費	244,264,103	236,072,165	8,191,938	3.5
2 総務費		4,724,598,102	3,862,653,049	861,945,053	22.3
	1 総務管理費	3,396,877,002	3,236,700,336	160,176,666	4.9
	2 徴税費	1,067,304,964	370,794,007	696,510,957	187.8
	3 戸籍住民基本台帳費	189,230,665	159,619,444	29,611,221	18.6
	4 選挙費	40,568,184	52,111,315	△ 11,543,131	△ 22.2
	5 統計調査費	1,430,099	5,163,678	△ 3,733,579	△ 72.3
	6 監査委員費	29,187,188	38,264,269	△ 9,077,081	△ 23.7
3 民生費		13,153,630,776	12,141,462,208	1,012,168,568	8.3
	1 社会福祉費	7,403,052,924	6,861,369,683	541,683,241	7.9
	2 児童福祉費	5,328,075,044	4,843,140,968	484,934,076	10.0
	3 生活保護費	402,960,403	419,371,843	△ 16,411,440	△ 3.9
	4 国民年金費	19,492,405	17,549,714	1,942,691	11.1
	5 災害救助費	50,000	30,000	20,000	66.7
4 衛生費		2,490,976,885	2,683,048,799	△ 192,071,914	△ 7.2
	1 保健衛生費	1,497,625,873	1,476,206,372	21,419,501	1.5
	2 清掃費	993,351,012	1,206,842,427	△ 213,491,415	△ 17.7
5 労働費		670,256	682,351	△ 12,095	△ 1.8
	1 労働対策費	670,256	682,351	△ 12,095	△ 1.8

(単位 円)

款	項	令和6年度	令和5年度	差引増減	増減率(%)
6 農林水産業費		68,617,965	66,801,750	1,816,215	2.7
	1 農業費	64,567,852	65,263,660	△ 695,808	△ 1.1
	2 林業費	4,050,113	1,538,090	2,512,023	163.3
7 商工費		369,466,997	525,103,578	△ 155,636,581	△ 29.6
	1 商工費	369,466,997	525,103,578	△ 155,636,581	△ 29.6
8 土木費		2,610,513,420	2,805,635,871	△ 195,122,451	△ 7.0
	1 土木管理費	128,942,084	114,243,394	14,698,690	12.9
	2 道路橋梁費	474,293,100	522,560,852	△ 48,267,752	△ 9.2
	3 河川費	15,749,740	6,524,100	9,225,640	141.4
	4 都市計画費	1,987,147,874	2,146,344,896	△ 159,197,022	△ 7.4
	5 住宅費	4,380,622	15,962,629	△ 11,582,007	△ 72.6
9 消防費		1,167,901,142	941,108,863	226,792,279	24.1
	1 消防費	1,167,901,142	941,108,863	226,792,279	24.1
10 教育費		2,738,431,085	3,311,725,499	△ 573,294,414	△ 17.3
	1 教育総務費	816,121,270	745,269,929	70,851,341	9.5
	2 小学校費	572,074,917	1,283,564,064	△ 711,489,147	△ 55.4
	3 中学校費	221,465,550	186,074,518	35,391,032	19.0
	4 給食センター費	692,415,008	647,782,286	44,632,722	6.9
	5 社会教育費	302,674,075	246,963,719	55,710,356	22.6
	6 保健体育費	133,680,265	202,070,983	△ 68,390,718	△ 33.8
11 災害復旧費		68,585	66,000	2,585	3.9
	1 災害復旧費	68,585	66,000	2,585	3.9

(単位 円)

款	項	令和6年度	令和5年度	差引増減	増減率(%)
12 公債費		1,950,067,805	1,938,211,863	11,855,942	0.6
	1 公債費	1,950,067,805	1,938,211,863	11,855,942	0.6
13 諸支出金		116,686,215	266,666,102	△ 149,979,887	△ 56.2
	1 諸費	116,686,215	266,666,102	△ 149,979,887	△ 56.2
14 予備費		0	0	0	-
	1 予備費	0	0	0	-
歳 出 合 計		29,635,893,336	28,779,238,098	856,655,238	3.0

(3) 人件費の状況

ア 特別職

(単位 円)

区分	令和6年度	令和5年度	差引増減	増減率(%)
報酬	188,020,860	192,679,291	△ 4,658,431	△ 2.4
給料	29,820,000	29,204,700	615,300	2.1
職員手当等	58,289,390	54,347,040	3,942,350	7.3
共済費	45,448,436	45,301,100	147,336	0.3
合計	321,578,686	321,532,131	46,555	0.0

イ 一般職

(単位 円)

区分	令和6年度	令和5年度	差引増減	増減率(%)
報酬	920,579,250 (920,579,250)	782,204,982 (782,204,982)	138,374,268 (138,374,268)	17.7 (17.7)
給料	2,185,401,045	2,101,313,822	84,087,223	4.0
職員手当等	1,659,345,689 (235,973,938)	1,465,837,499 (113,778,423)	193,508,190 (122,195,515)	13.2 (107.4)
共済費	1,205,828,339 (145,813,462)	1,151,939,665 (118,062,685)	53,888,674 (27,750,777)	4.7 (23.5)
合計	5,971,154,323 (1,302,366,650)	5,501,295,968 (1,014,046,090)	469,858,355 (288,320,560)	8.5 (28.4)

※ 会計年度任用職員分について()内に内数として計上

3 普通会計決算に基づく財政力、財政構造の状況

(1) 決算収支の状況

(単位 千円)

	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引	翌年度に繰越すべき財源	実質収支	単年度収支	積立金 (財政調整基金)	繰上償還金	基金取崩額 (財政調整基金)	実質単年度 収支
令和6年度	31,155,795	29,589,340	1,566,455	285,414	1,281,041	155,284	560,569	0	865,000	△ 149,147
令和5年度	30,249,810	28,787,962	1,461,848	336,091	1,125,757	△ 68,333	598,330	0	350,000	179,997

(2) 財政力及び財政構造の状況

区分		令和6年度	令和5年度
基準財政収入額		11,465,133千円	11,200,954千円
基準財政需要額		14,317,407千円	13,628,026千円
標準税収入額等		14,623,127千円	14,258,237千円
標準財政規模		17,579,376千円	16,878,127千円
うち臨時財政対策債発行可能額		93,053千円	192,818千円
財政力指数	3年平均	0.821	0.838
	単年度	0.801	0.822
実質収支比率		7.3%	6.7%
経常収支比率		95.3% (95.8%)	89.5% (90.5%)
基金残高		4,237,474千円	4,474,695千円
うち財政調整基金		2,886,870千円	3,191,301千円
うち減債基金		163,879千円	101,429千円
うちその他特定目的基金		1,186,725千円	1,181,965千円
地方債現在高		17,563,170千円	18,574,165千円

※ 経常収支比率の()内の数値は、減収補填債特例分及び臨時財政対策債を経常一般財源等から除いた比率

4 令和6年度決算に係る主要施策の成果

一般会計

款・項目	2-1-16	事務事業	11-0101 WHO健康都市推進事業	担当課等名	秘書課（健康都市・スポーツ課）
------	--------	------	---------------------	-------	-----------------

決 算 額（円）		2,897,716
財 源 内 訳	国庫支出金	0
	県支出金	0
	地 方 債	0
	そ の 他	0
	一般財源	2,897,716

〔総括〕

WHOが提唱する「健康都市」の理念に基づき、「健康都市 尾張旭」を実現するため、健康都市プログラムを推進すると共に、第六次総合計画の策定に伴い、プログラムの見直しを実施し、第3次尾張旭市健康都市プログラムを策定した。

令和6年度は、健康都市20周年として各課と協力を図りながら各種事業を実施し、市内外に向けてより積極的に啓発事業を実施したほか、WHO健康都市連合国際大会へ参加し、WHO等から健康都市の取組を表彰され、各種取組について国内外に情報を発信し、「健康都市 尾張旭」の推進及び認知向上を図った。

〔実績及び成果〕

- 第20回健康都市連合日本支部総会・大会に参加し、各都市の健康づくりの取組について情報共有を行ったほか、市民ボランティア団体（健康づくり推進員・食育ラボ・スポーツ推進委員）と共に各都市のボランティア団体との交流を図り、本市の取組を周知した。（総会・大会開催地：大阪府吹田市）
- 積極的な健康づくりを推進するため、外出機会の増加や参加年齢の拡大となるようあさひ健康マイスター手帳の見直しや対象事業の追加等を行い、「あさひ健康マイスター事業」を通じて健康づくりのきっかけを提供し、幼少期からの健康づくりに寄与した。

あさひ健康マイスター事業	令和6年度（増減）
対象事業	281事業（+7事業）
参加者	473人（▲8人）
あさひ健康マイスター表彰者	307人（+17人）

【これまでの実績】平成20年度～令和6年度
健康マイスター表彰（単年度）延べ2,231人
プラチナマイスター表彰（15年連続）10人
ゴールドマイスター表彰（10年連続）51人
シルバーマイスター表彰（5年連続）148人

あさひ健康
マイスター手帳



- 第10回健康都市連合国際大会（大韓民国ソウル特別市開催）に参加し、職員が「健康都市のための多部門間連携」をテーマとした分科会等において発表を行い、各国の健康都市と情報交換を図ったほか、本市の取組についてWHO及び健康都市連合から3賞を受賞し、本市の取組が国内外に広く認知された。



- 健康都市20周年を記念してロゴマーク及びピンバッジを作成し、各課と協力して20周年の冠事業を実施したほか、市営バスあさび一号を利用して周知を実施した。そのほかにも、ウォーキングガイド“A-map”（ええまっぷ）を2,500部作成し、「尾張旭市 健康の日」である4月29日から各種事業や各施設等を通じて配布したほか、愛知医科大学と連携して健康講座を開催するなど健康都市プログラムの推進を図った。



一般会計

款・項目	2-1-16	事務事業	11-0102 健康の日事業	担当課等名	秘書課（健康都市・スポーツ課）
			01-0205 健康の日事業（繰越明許費）		

決 算 額（円）		2,527,094	〔総括〕 4月29日「尾張旭市 健康の日」から5月31日までの期間、からだ・こころ・まちの健康及びSDGsを共通テーマとし、各種事業を通して市民の健康意識を高め、市民自ら健康都市づくりに取り組む機会を提供するため、「あさひ健康フェスタ」を開催している。 令和6年度は、健康都市20周年として尾張旭駅前広場において20周年記念イベントを開催した。今後も開催方法を検討しながら、市内外との連携を深め、「健康都市 尾張旭」の周知及び推進を図る。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	0	
	そ の 他	400,000	
一般財源		2,127,094	

〔実績及び成果〕

- 1 第20回あさひ健康フェスタを開催し、延べ4,037人が参加した。

令和6年度は、健康都市20周年として尾張旭駅前広場にて記念イベントを実施し、「健康都市 尾張旭」の周知を図った。

スカイワードあさひをイベントのメイン会場とし、「健康都市 尾張旭」の代表的取組の一つである市営バスあさび一号を駅前広場とのシャトルバスとして運行した。また、あさびースマイルウォーキングのスタート時間を早めて分散化を行い、参加者の安全性の確保及び参加者数の増加を図った。それにより、会場・イベント来場者数の増加に繋がった。

(1) 実施イベントの内容

ア 市主催事業

あさひ健康フェスタ（4月29日～5月31日）、健康都市20周年記念イベント（4月29日）、健康まつり（4月29日）、あさびースマイルウォーキング（4月29日）、からだ・こころ・まちの健康×SDGs展（4月27日～5月31日）

イ 外部連携事業（4月29日）

Familyにこにこフェスタ、名古屋産業大学・名古屋経営短期大学（ノルディックウォーク教室、講座開催等）

- (2) より多くの方に参加していただけるよう、企業・大学等と連携し、各種スタンプラリー等を実施した。

- 2 次年度の事業の企画・準備

実施結果を踏まえて、市民等がより参加しやすく市内外に「健康都市 尾張旭」を発信できるよう次回の会場を城山公園内に集めたほか、産学公連携の継続及びシャトルバスの運行など実施方法の見直しを図った。

開催会場・イベント等	令和6年度（増減）
スカイワードあさひ会場・健康まつり	1,900人（+200人）
グリーンシティ会場・駅前広場	900人（+400人）
イトーヨーカドー会場（展示）	1,000人（+100人）
あさびースマイルウォーキング	237人（+34人）



一般会計

款-項目	2-1-5	事務事業	81-0101 広報誌発行事業	担当課等名	広報戦略課
------	-------	------	-----------------	-------	-------

決 算 額 (円)		38,991,561	【総括】 令和6年5月号から「つたわる」広報誌を目指して誌面の全面リニューアルを実施し、特集とお知らせ記事を分けたメリハリのある誌面構成や、ホームページIDの掲載、LINEで発行をお知らせするなど各種情報発信媒体との連携により、効果的な情報発信ができた。 今後も全戸配布という特徴を活かすとともに、効果的で魅力的な誌面づくりや、各種情報発信媒体との連携により、「つたわる」そして読み手の行動につながるような「人を動かす」広報誌の発行に取り組む。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	0	
	そ の 他	1,040,000	
	一般財源	37,951,561	

【実績及び成果】

- 1 月2回から1回（1日号）に発行回数を変更し、シルバー人材センター等により、遅滞なく全戸配布を実施
 発行状況：令和6年5月号～令和7年4月号（12号）、総ページ数：352ページ（前年度（24号）△52ページ）
 発行部数：延べ443,770部（前年度（24号）△437,110部）
- 2 令和6年5月号から誌面を全面リニューアル
 - (1) 新コーナー「子ども・子育てだより」、「シニアだより」による読み手に合わせた誌面づくりを実施し、読者アンケートでも好意的な意見をいただいた。
 - (2) ホームページやSNSとの連携により、効果的な情報発信を実施するとともに、利便性の向上を図った。
 - ・記事ごとにホームページIDの掲載、特集記事拡充版のホームページ掲載
 - ・Instagramに投稿された写真の掲載、LINEで広報誌発行をお知らせ
- 3 愛知県広報コンクールで2作品が受賞
 - (1) 広報写真部門（組み写真）で特選：令和6年12月号10・11ページ
 - (2) 広報紙部門（市部）で奨励賞：令和6年12月号特集「大切な命を守るために 交通事故ゼロのまちを目指して」
- 4 広報おわりあさひ（保存版）を発行（1,667,578円、令和7年4月号と同時配布）
 毎月発行する広報誌とは別に、年間を通じた制度や講座などを掲載した保存版を発行し、利便性の向上を図った。
 また、誌面をオールカラーにして見やすさを向上させたほか、広告枠の拡大及び広告料を増額し、収入の確保を図った。
 発行部数：38,600部、ページ数：32ページ、広告料収入：654,000円（前年度比+429,000円）



▲令和6年12月号10・11ページ

一般会計

款-項目	2-1-5	事務事業	81-0102 ふるさと尾張旭発信事業	担当課等名	広報戦略課
------	-------	------	---------------------	-------	-------

決 算 額 (円)		16,539,264
財 源 内 訳	国庫支出金	0
	県支出金	0
	地 方 債	0
	そ の 他	731,000
	一般財源	15,808,264

〔総括〕

令和6年度は、市イメージキャラクター「あさびー」の誕生20周年に合わせ、名鉄瀬戸線を活用したPRや、尾張旭駅前広場でお誕生日会イベントを開催するなどし、市のブランド価値向上や愛着の醸成を図った。

また、尾張旭市ふるさと大使を、本市出身の津軽三味線奏者 岡野兄弟(将之氏、哲也氏)に委嘱した。

今後は、シティプロモーションに関する戦略を策定するとともに、あさびーやふるさと大使などを活用して、本市の魅力を市内外にPRしていく。

〔実績及び成果〕

1 あさびー誕生20周年関連

(1) あさびー20周年PR委託料 (4,000,000円)

- ・あさびートレインを運行した。(令和6年12月1日～令和7年2月28日)
運行初日に尾張旭駅で発車式を実施した。テレビ2社、新聞3社で取り上げられる等PRできた。キリンビバレッジ(株)と連携し、名鉄本線でも同様の装飾(一部)を実施した。
- ・上記期間に、名鉄瀬戸線各駅、名古屋駅、金山駅に PRポスターを掲示した。
- ・本市及び周辺地域を運行する名鉄バスにあさびーの装飾をした。

(2) あさびー20周年お誕生日会運営委託料 (699,600円)

- ・日時：12月1日午後1時～午後4時 場所：尾張旭駅前広場 来場者：2,500人
- ・内容：原作者への感謝状贈呈、各種ブース出展・ステージ、集まったあさびーへのお祝いメッセージの展示等をした。

2 ふるさと大使活動委託料 (999,880円)

(1) 岡野兄弟 (令和6年9月21日委嘱) さくらまつりスペシャルステージ出演

(2) TOMO (令和6年2月2日委嘱) 小中高生ダンスフェスティバル出演



あさびートレイン発車式



さくらまつりスペシャルステージ

一般会計

款・項目	2-1-9	事務事業	82-0905 平子の森利活用推進事業	担当課等名	企画課
			01-0202 平子の森利活用推進事業（繰越明許費）		

決 算 額（円）		7,509,391	〔総括〕 令和6年度は、平子町北地内市有地におけるトライアル事業の終期である令和8年度末を見据え、当該市有地の既存建物等の解体検討委託を行った。この結果により、建物の解体には多額の費用が必要ながことが判明したため、今後は、市場調査を行い、透明性の高い、開かれた形で、民間による柔軟なアイデアや資金力の活用を検討する。 上記のほか、当該市有地の維持管理のため、草刈りや巡回警備等を実施した。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	0	
	そ の 他	0	
	一般財源	7,509,391	

〔実績及び成果〕

1 平子町北地内市有地における建物解体検討委託

(1) 検討委託の概要

平子町北地内市有地（約15ha）におけるトライアル事業の終期である令和8年度末を見据え、その後の利活用を検討するため、当該市有地の既存建物等の解体に要する概算費用及び概略の施工期間の算出を目的として実施した。

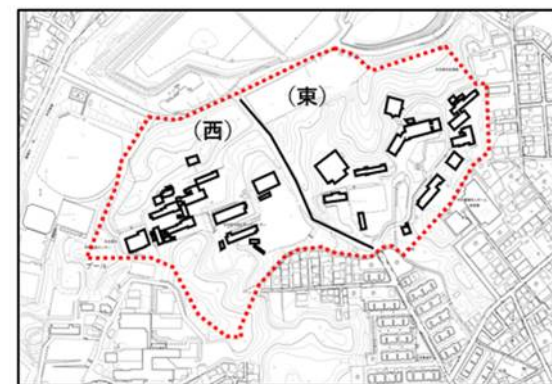
対象施設：大小44の建物・プール（計45施設）

委託期間：令和6年11月12日～令和7年3月21日

委託金額：1,925,000円

(2) 調査結果の概要

項 目	東エリア	西エリア	合 計
概算費用	8億3,613万円	6億5,366万円	14億8,979万円
概算の施工期間	15か月	13.5か月	28.5か月



対象地

2 平子町北地内市有地の維持管理

当該市有地の維持管理として、草刈りや巡回警備等を実施した。

環境整備委託料、警備保障委託料等 5,584,391円（繰越明許費を含む。）

一般会計

款-項目	2-1-10	事務事業	82-0502 情報システム管理事業	担当課等名	情報政策課
------	--------	------	--------------------	-------	-------

決 算 額 (円)		163,472,553	【総括】 ネットワーク機器の更新に伴い、市役所本庁舎のLGWAN接続系ネットワークの無線化を行い、庁舎内のほぼ全ての場所でLGWANの無線接続が可能となった。 これにより、LGWAN接続系ノートPC等を用いた庁舎内での打合せや会議がしやすくなり、ペーパーレス化や業務効率化が見込めるようになった。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	0	
	そ の 他	8,116,712	
一般財源		155,355,841	

【実績及び成果】

- ネットワーク機器更新及び市役所本庁舎LGWAN接続系ネットワーク無線化
 ネットワーク機器の賃貸借契約満了に伴い、ネットワーク機器を更新するとともに、市役所本庁舎のLGWAN接続系ネットワークの無線化の工事を併せて実施することで、打合せ等をペーパーレスで実施できるようにした。
 これにより、複合機出力枚数を前年度比で4%（約22万カウント）減少させることができ、コスト削減に繋がっている。

ネットワーク機器及び本庁舎LGWAN接続系ネットワーク無線化機器等賃貸借 2,043,690円
 ネットワーク機器及び本庁舎LGWAN接続系ネットワーク無線化構築業務 7,128,000円
 ネットワーク機器及び本庁舎LGWAN接続系ネットワーク無線化機器等工事 4,950,000円
 ネットワーク機器及びLGWAN接続系ネットワーク無線化機器SEサポート保守委託業務 297,000円

一般会計

款・項目	2-1-10	事務事業	82-0513 デジタル化推進事業	担当課等名	情報政策課
------	--------	------	-------------------	-------	-------

決 算 額 (円)		94,507,482	【総括】 自治体情報システムの標準化・共通化を推進するため、対応案を検討するとともに、一部業務については令和6年度に標準準拠システムに移行した。 「行かない窓口」を実現するため、国が提供しているマイナポータル（ぴったりサービス）の共通決済基盤機能（電子決済機能）を活用し、本市で取得可能な証明書等の一部について、マイナンバーカードを利用して証明書等発行手続きをする際、手数料をオンラインで納付できるようにするサービスを開始した。
財 源 内 訳	国庫支出金	3,876,000	
	県支出金	0	
	地 方 債	0	
	そ の 他	73,426,000	
一般財源		17,205,482	

【実績及び成果】

1 自治体情報システムの標準化・共通化

住民記録、戸籍、介護保険、児童手当、子ども・子育て支援、健康管理等の基幹系20業務の情報システム標準化に必要な事務を行った。

- ・関係課、システム提供事業者と調整、打合せを実施し、国が示す標準仕様書に記載された業務フローや機能・帳票要件等に対し、現行システムとの差を分析することにより、その影響範囲を洗い出し、対応案を検討した。
- ・システム標準化・共通化のスケジュールの調整、変更を行った。
- ・住民記録業務及び印鑑登録業務について標準準拠システムに移行した。

2 国が提供しているマイナポータル（ぴったりサービス）を活用した証明書の郵便請求に係る電子申請を導入し、交付手数料及び郵便料金のキャッシュレス決済を可能とすることで、来庁不要の手続きを令和6年11月から開始した。

これにより、郵便請求の際に市民の方が郵便局まで定額小為替を購入しに行く手間や、定額小為替発行手数料（1枚につき200円）の負担を軽減することができ、より利便性の高い申請環境を提供している。

<対象証明書等及び令和6年度実績>

- ・所得課税証明書 : 10件
- ・名寄帳 : 1件
- ・納税証明書 : 3件
- ・市税（延滞金を含む。）に滞納がない旨の証明 : 2件

<使用可能決済>

PayPay、au PAY、d払い、クレジットカード



一般会計

款-項目	2-1-12	事務事業	82-0918 市役所庁舎維持管理事業	担当課等名	総務課
			01-0203 市役所庁舎維持管理事業（繰越明許費）		

決 算 額（円）		229,083,565	【総括】 来庁者や職員が安全に利用できるよう、適切に庁舎の維持管理をすることにより、良好な環境へ改善を図った。令和6年度は、令和5年度に着手した市役所庁舎外壁改修工事が施工完了した。 また、市役所食堂について、公募型プロポーザルにより選定した運営事業者により、令和6年6月からリニューアルオープンした。 今後も、公共施設等総合管理計画に係る個別施設計画などに基づき、適切な庁舎の維持管理に努める。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	90,900,000	
	そ の 他	3,460,820	
	一般財源	134,722,745	

【実績及び成果】

1 外壁改修工事（繰越明許費：139,898,000円）

市役所庁舎において建築基準法第12条に基づき実施した定期調査※の結果、タイルのひび割れや浮き等が確認されたことから、施設の安全性の確保及び長寿命化を目的とした外壁等改修工事を実施した。

※建築基準法第12条に基づく定期調査

デパートやホテル、病院など、不特定多数の人が利用する施設において、建物の老朽化や避難設備の不備、建築設備の作動不良などにより、大事故が発生するリスクがあるため、安全性を確保することを目的として、義務付けられている調査。

食堂メニュー（例）

2 市役所食堂リニューアルオープン

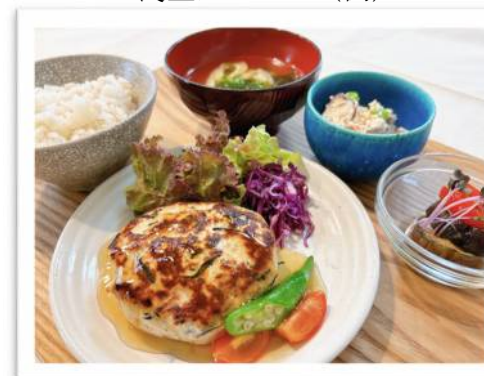
市役所北庁舎地下1階の食堂について、公募型プロポーザルにより選定した運営事業者により、リニューアルオープンした。

3 1階ロビー給茶機における紅茶の提供

「おいしい紅茶のまち」のPRを踏まえた市民サービスの一環として、市役所庁舎1階ロビーに設置している給茶機において、紅茶を提供した。

4 1階ロビーにおけるBGM放送の開始

市役所南庁舎南側フロアにおいて試行的に実施していたBGM放送に関して、1階ロビーへ場所を変更して、放送を実施した。



一般会計

款-項目	2-4-2	事務事業	82-0917 衆議院議員選挙事務	担当課等名	総務課
------	-------	------	-------------------	-------	-----

決 算 額 (円)		29,154,274	〔総括〕 第50回衆議院議員総選挙及び第26回最高裁判所裁判官国民審査の選挙期日を有権者に周知するとともに、公職選挙法等の関係法令に基づき、選挙事務を適正に執行した。 今後も適正な管理執行のもと、投票率向上に繋げるため、若年層への主権者教育等、効果的な啓発活動を行っていくとともに、投票環境の整備についても併せて進めていく。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	27,932,052	
	地 方 債	0	
	そ の 他	0	
	一般財源	1,222,222	

〔実績及び成果〕

- 1 準備事務
ポスター掲示場の設置、投票管理者等の選任、選挙啓発のぼり旗の作成等の準備事務を行った。
- 2 期日前投票事務（10月16日～10月26日）
市役所に期日前投票所を開設した。（期日前投票者数 12,615人（前回比 108.17%（+953人）、小選挙区））
- 3 投票事務・開票事務（10月27日）
市内21か所に投票所を開設し、総合体育館に開票所を開設した。
（開票終了：10月28日午前1時45分）

<参考>人件費含む事業費総額 38,542,335円（財源内訳：県支出金 37,320,113円）
- 4 成果（投票率等）
有権者数 68,647人、投票者数 38,595人（小選挙区）
投票率 56.22%（前回比△1.84ポイント）（小選挙区）

今回の選挙から小選挙区の区割改定が実施され、愛知県の小選挙区が15から16に増加したほか、在外国民による最高裁判所裁判官国民審査の在外投票制度が創設された初めての選挙であった。

投票率は選挙の争点など様々な要因が影響するものではあるが、前回の衆議院議員総選挙と比較して、1.84ポイント下回る結果となった。



一般会計

款-項目	2-5-2	事務事業	89-0904 基幹統計調査事業	担当課等名	総務課
------	-------	------	------------------	-------	-----

決 算 額 (円)		918,752	〔総括〕 国民経済の健全な発展及び国民生活の向上に必要な基礎資料を得ることを目的とし、統計法及び各種関係法令に基づき、基幹統計調査を実施した。 今後も、各種基幹統計調査を適切に実施できるよう、県と連携を図り、実施に伴う周知や指導員、調査員への支援を行う。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	918,752	
	地 方 債	0	
	そ の 他	0	
	一般財源	0	

〔実績及び成果〕

1 農林業センサス (445,176円)

農林業の生産構造や就業構造、農山村地域における土地資源など農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにし、農林業施策の企画・立案・推進のための基礎資料となる統計を作成し、提供することを目的に、5年ごとに実施する調査。

＜参考＞人件費含む事業費総額 447,427円
 (財源内訳：県支出金 447,427円)

2 全国家計構造調査 (325,768円)

家計における消費、所得、資産及び負債の実態を総合的に把握し、世帯の所得分布及び消費の水準、構造等を全国的及び地域別に明らかにすることを目的に、5年ごとに実施する調査。

＜参考＞人件費含む事業費総額 325,768円
 (財源内訳：県支出金 325,768円)

(参考) 今後実施される主な統計調査一覧

	R7	R8	R9	R10	R11
国勢調査	○				
経済センサス - 活動調査		○			
就業構造基本調査			○		
住宅・土地統計調査				○	
全国家計構造調査					○
農林業センサス					○

3 その他基幹統計調査関連事務 (147,808円)

(1) 国勢調査事務 114,384円

(2) 統計調査員確保対策事業事務 23,692円

(3) 経済センサス調査区管理事務 9,732円

＜参考＞人件費含む事業費総額 265,746円
 (財源内訳：県支出金 265,746円)

一般会計

款-項目	9-1-4	事務事業	52-0301 備蓄物資・資機材整備管理事業	担当課等名	危機管理課
			01-0903 備蓄物資・資機材整備管理事業（繰越明許費）		

決 算 額（円）		17,024,172	【総括】 大規模災害発生時に備え、避難所等の運営に必要な飲料水や食料品等の備蓄品、ダンボールベッドやナイロン製間仕切り等の資機材を購入した。 また、令和6年能登半島地震による職員派遣の経験を元に、被災地への職員派遣において現地での生活環境の確保や本市が被災した際に活用するために必要な物品を整備した。 今後も必要な備蓄品や避難所環境向上に繋がる資機材の購入を進めていく。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	2,557,000	
	地 方 債	0	
	そ の 他	498,000	
	一般財源	13,969,172	

【実績及び成果】

- 1 大規模災害時に備え、必要な飲料水や食料品等の備蓄品の購入及び南海トラフ巨大地震等対策事業費補助金を活用し、避難所機能向上に繋がるダンボールベッドやナイロン製間仕切り等の資機材を購入した。
 13,135,814円（内県補助金：2,557,000円）

購入物品	数量
飲料水（500ml）	14,400本
飲料水（2L）	720本
アルファ化米	14,900食
ライスクッキー	1,920食

購入物品	数量
栄養補助食品（固形タイプ）	5,760食
栄養補助食品（ようかん）	600食
栄養補助食品（クリームサンドビスケット）	900食
液体ミルク	240食
粉ミルク（乳児用）	1,200食
粉ミルク（アレルギー対応）	108食

購入物品	数量
ナイロン製間仕切り	96張
ダンボールベッド	112台
災害用毛布	280枚

- 2 被災地への職員派遣において現地での生活環境の確保や本市が被災した際に活用するために必要な物品を購入した。
 （繰越明許費分：995,639円）
- ・寝袋、簡易ベッド、防寒着、レインコート、耐切創手袋、電気ケトル、モバイルバッテリー、タイヤチェーン等（499,859円）
 - ・災害対策用無人航空機（320,000円）
 - ・ポータブル電源（175,780円）

一般会計

款-項目	9-1-4	事務事業	52-0305 防災倉庫整備事業	担当課等名	危機管理課
------	-------	------	------------------	-------	-------

決 算 額 (円)		7,975,000	〔総括〕 令和6年能登半島地震による職員派遣の経験を踏まえ円滑な被災者支援を行うため、中央防災倉庫を整備するための設計を実施した。 現在、市内3か所に点在する地域防災倉庫を市の中心部に位置する消防本部敷地内に集約することで、発災時の限られた人員でも効率的な物資搬送を可能とする。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	7,900,000	
	そ の 他	0	
一般財源		75,000	

〔実績及び成果〕

- 1 中央防災倉庫の整備工事設計委託業務にて、円滑な物資搬入出や効率的な物資搬送が可能となる倉庫の設計を行った。
- 2 当設計を基に令和7年度に中央防災倉庫整備工事を実施する。

中央防災倉庫イメージ



- ・ ロールボックスパレットを活用した保管方法や2階部分からの荷下ろし用滑り台を設ける等、円滑な物資の搬入出を実現できる計画とした。
- ・ 令和7年度建築予定。

(参考延床面積) 地域防災倉庫合計: 約450㎡ ⇒ 中央防災倉庫: 約810㎡



ロールボックス
パレット
台車が不要
搬入出が容易



滑り台
特殊な操作不要
荷下ろしが容易

一般会計

款・項目	2-1-8	事務事業	82-0220 尾張あさひ苑維持管理事業	担当課等名	財政課
------	-------	------	----------------------	-------	-----

決 算 額 (円)		39,005,000	【総括】 令和6年度は、道路の土砂崩れに伴う花桃まつりの中止のほか、南海トラフ地震臨時情報の発表、繁忙期の台風等各種の自然災害の影響により、宿泊者数は計画予定人数を大幅に下回り、宿泊客数は前年度比10.4%の減少となった。 「ウェルカムベビーのお宿」認定施設として、子育て家族を中心とした新規利用者の集客強化や、既存利用者の再訪回数を向上させる取組を実施している。全体の宿泊者数は減少したものの、ファミリープレミアム和洋室、ファミリー和洋室の利用人数は前年度よりも増加した。引き続き、安定経営ができるよう、市と指定管理者で協働して、事業を進める。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	0	
	そ の 他	0	
一般財源		39,005,000	

【実績及び成果】

- 1 指定管理者による施設管理
 指定管理者：尾張旭市施設管理協会
 指定期間：令和3年度から令和12年度まで

区分	令和5年度	令和6年度
指定管理料	33,300,000円	37,700,000円
施設利用収入	69,157,352円	62,923,980円
営業日数	358日	357日
宿泊者数	6,018人	5,395人
市民宿泊者数	4,475人	3,818人
ファミリー宿泊者数	2,655人	2,261人
小学生・幼児宿泊者数	588人	499人

- 2 各種補助金等の交付
 指定管理施設光熱費等高騰対策補助金 1,249,000円



一般会計

款-項目	2-2-4	事務事業	82-0214 定額減税補足給付金給付事業	担当課等名	税務課
------	-------	------	-----------------------	-------	-----

決 算 額 (円)		674, 442, 278	【総括】 定額減税しきれないと見込まれた方に対して、定額減税補足給付金を給付した。 ※ 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金により実施（交付金額674, 442, 278円）
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	0	
	そ の 他	0	
一般財源		674, 442, 278	

【実績及び成果】

- 1 対象者
 定額減税可能額（※1）が令和6年分推計所得税額（※2）又は令和6年度市県民税所得割額を上回った方
 ※1 定額減税可能額
 所 得 税：3万円×本人及び扶養親族の数
 市県民税所得割：1万円×本人及び扶養親族の数
 ※2 令和6年分推計所得税額
 令和6年分所得税額は令和6年中には確定しないため、令和5年分の所得情報等から推計した額
- 2 支給実績
 14, 576人（支給率97. 36%） 634, 680, 000円
- 3 決算額
 674, 442, 278円（内訳：給付金634, 680, 000円、事務費39, 762, 278円）

一般会計

款・項目	2-1-15	事務事業	51-0209 コミュニティ拠点施設管理運営事業	担当課等名	暮らし政策課
------	--------	------	--------------------------	-------	--------

決 算 額 (円)		168,915,504	〔総括〕 指定管理者が地域コミュニティの拠点施設である「東部市民センター、渋川福祉センター、スカイワードあさひ（旭城含む。）、新池交流館」の管理を行うとともに、各施設での独自性のある自主事業の実施により市民の福祉増進や文化の向上を図った。 今後も、指定管理者制度により民間事業者のノウハウを活用し、市民サービスの向上や効果的・効率的な管理運営を図っていく。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	0	
	そ の 他	0	
	一般財源	168,915,504	

〔実績及び成果〕

- 1 指定管理者が施設の管理及び自主事業を行った。自主事業参加者は令和5年度と比較し1,549人減少した。

施設名	指定管理者	指定期間	指定管理料(R6)	年間利用者	自主事業数等
東部市民センター	ハマダスポーツ企画(株)	令和2年度～令和6年度	72,546,777円	63,092人	86講座 参加者 1,147人
渋川福祉センター				98,901人	120講座 参加者 2,787人
スカイワードあさひ (旭城含む。)	代表団体：コニックス(株) 構成団体：(株)アルファスポーツ	令和6年度	50,536,164円	230,593人 (うち旭城1,048人)	88講座 参加者 9,899人
新池交流館	シンコースポーツ中部(株)	令和4年度～令和6年度	28,451,115円	76,421人	177講座 参加者11,751人

- 2 施設を安全で快適に利用していただくため、不具合箇所を修繕した。

主な修繕内容（指定管理者との協定に基づき市が実施したもの）		修繕料
渋川福祉センター	吸収式冷温水発生機冷却水チューブ修繕など	11,962,918円
スカイワードあさひ	イベントステージシャッター部品取替修繕、浄化槽ブロワー修繕、吸収式冷温水発生機修繕など	
旭城	レストハウスグリストラップ修繕	
新池交流館	事務室系統室外機部品取替修繕	

- 3 指定管理施設光熱費等高騰対策補助金を交付し、指定管理者の安定的な施設運営を支援した。
補助金 5,408,000円

一般会計

款-項目	2-1-15	事務事業	51-0304 コミュニティ拠点施設整備事業	担当課等名	暮らし政策課
------	--------	------	------------------------	-------	--------

決 算 額 (円)		84,048,800	【総括】 施設の経年劣化や不良箇所に対応するため、渋川福祉センター等で改修工事を実施したほか、指定避難所である東部市民センターの環境改善を目的とした改修の実施設計委託を行うなど、施設の機能向上及び長寿命化に向けた取組を推進することができた。 今後も、施設の利用者が安全・安心かつ快適に利用できるよう、市民サービスの向上と効果的かつ効率的な管理運営を図るとともに、計画的な施設整備を行いながら、各施設の維持保全を図っていく。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	75,300,000	
	そ の 他	0	
一般財源		8,748,800	

【実績及び成果】

施設の長寿命化や安全で快適な施設利用を図るための改修工事を行った。

主な工事内容		工事請負費等
東部市民センター	・ 指定避難所環境改善工事の実施設計委託 ※ 1階トイレ部分	(委託) 4,661,800円
渋川福祉センター	・ 運動室天井等改修工事監理委託 ・ 運動室天井等改修工事 ・ 小会議室系統空調設備改修工事	(委託) 1,870,000円 (工事) 56,963,500円
新池交流館	・ 外壁改修工事	(工事) 19,877,000円

一般会計

款-項目	2-1-4	事務事業	51-0101 地域コミュニティ活性化事業	担当課等名	市民活動課
------	-------	------	-----------------------	-------	-------

決 算 額 (円)		26,075,395	【総括】 地域コミュニティの活性化を目指して、自治会等に補助金を交付し、その活動を支援した。 また、自治会等の役員負担が自治会加入率減少の原因となっていることから、デジタル技術を自治会等活動に取り入れることで業務改善を図り、役員負担の軽減や加入者が参加しやすい状況を作る等の目的で講習会を開催した。 自治会等加入率の低下は、本市をはじめ全国的に課題となっているが、今後も自治会活動の重要性の理解を深め、自治会等の活動内容の周知と自治会等への加入への支援を進めると共に、役員負担の軽減や、活動内容の見直しなどを行い、地域に即した活動の継続を図る。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	0	
	そ の 他	2,500,000	
一般財源		23,575,395	

【実績及び成果】

- 地域コミュニティの活性化を支援するため、自治会等に補助金等を交付した。
 コミュニティ活動推進補助金（対象：連合自治会、交付額：100万円＋町内会数×2千円＋加入世帯数×230円で算出）
 9件、13,764,340円
 自治会等助成金（対象：自治会・町内会、交付額：加入世帯数×350円で算出）
 66件、7,106,208円
- 地域を住みやすくするために自治会等が行う事業に対して、申請書類とプレゼンテーションの評価を行い助成金を交付した。
 自治会等活動促進助成金（対象：連合自治会・自治会・町内会、交付額：対象経費の1/2以内で上限10万円）
 4件、400,000円
- 一般財団法人自治総合センターが実施しているコミュニティ助成事業を申請した連合自治会に、設備整備費補助金を交付した。
 コミュニティ設備整備費補助金 瑞鳳連合自治会（盆踊り大会用やぐら、ステップ等） 2,500,000円
- デジタル技術（IT：情報技術、ICT：情報通信技術）の活用により業務効率の改善を図り、役員負担の軽減を目指す目的で
 「地域活動ICT化支援講習会」を実施した。参加者8名
- 自治会等加入率 ※6月1日時点 右表のとおり

	令和5年度	令和6年度
総世帯数	36,947世帯	37,304世帯
自治会等加入世帯数	21,129世帯	20,668世帯
自治会等加入率	57.19%	55.40%

一般会計

款-項目	2-1-14	事務事業	54-0101 交通安全事業	担当課等名	市民活動課
------	--------	------	----------------	-------	-------

決 算 額 (円)		2,914,009	【総括】 交通安全啓発活動に取り組み、特に自転車乗車中の交通事故による人的被害の重大化防止を図るために、ヘルメット着用率の向上に向け、補助事業の対象年齢を全年齢に拡大した。 高齢者による交通事故を減少させることを目的に、70歳以上の方の運転免許証の自主返納を支援するために、記念品を交付した。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	356,350	
	地 方 債	0	
	そ の 他	6,000	
一般財源		2,551,659	

【実績及び成果】

1 自転車乗車用ヘルメット着用促進事業費補助金の交付

安全マークがついた自転車乗車用ヘルメットを購入した市民に対して、購入額の2分の1（上限2,000円）を補助し、ヘルメット着用率の向上を図った。

事業区分	令和5年度	令和6年度
対象年齢	7～18歳、65歳以上	全年齢
補助金額	1,180,250円	1,274,490円
補助件数	612件（児童生徒等224件、高齢者388件）	666件（児童生徒等285件、高齢者125件、その他256件）

2 運転免許証自主返納支援

70歳以上の方で運転免許証を自主返納した市民に対して、市営バス「あさぴ一号」回数券、尾張あさひ苑優待券などを交付し、自主返納の促進を図った。

事業区分	令和5年度	令和6年度
記念品交付件数	173件 （回数券83件、優待券9件、交通安全グッズ81件）	230件 （回数券100件、優待券17件、交通安全グッズ113件）
記念品購入金額	353,420円	452,100円

一般会計

款-項目	2-1-4	事務事業	74-0101 男女共同参画推進事業	担当課等名	多様性推進課
------	-------	------	--------------------	-------	--------

決 算 額 (円)		2,849,106	〔総括〕 第3次尾張旭市男女共同参画プランを策定した。 各種啓発事業、男女共同参画講座及び男女共同参画プランの進捗管理などを行うことにより、男女共同参画社会の理解を促進した。 令和5年度に導入した尾張旭市ファミリーシップ制度について、県内で同様の制度を設けている市町との連携を開始した。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	0	
	そ の 他	0	
一般財源		2,849,106	

〔実績及び成果〕

- 1 男女共同参画プランの策定及び進捗管理
第3次男女共同参画プランを策定した。
男女共同参画プラン関連事業の令和5年度実施状況及び評価をまとめ、年次報告書として公表した。
- 2 各種啓発を実施
フォーラムや講座、展示などを行い、男女共同参画社会の推進の理解を図った。
 - (1) 男女共同参画推進フォーラムの開催（2月、生涯学習フェスティバルオープニングイベント共催）
「母として娘として ～尾張旭から芸能界へ～ テレビのここだけの話」
（講師：青木さやか氏、参加者600人）
 - (2) 男女共同参画講座の開催（6月・3月）
 - ・「家族でチャレンジ！ 楽しいお片づけ講座 ー片づけの楽しさを体験しよう！ー」
（参加者 親子16組 44人）
 - ・「LGBTQ出張授業」（参加者 公立・私立保育職員85人）
 - (3) 男女共同参画夏休み企画の開催（8月）
「理系魅力発見！ 女子生徒のための地元企業見学」（参加者 市内女子中高生8人）
 - (4) 啓発活動の実施
 - ・パネル展示（6月・10月・2月・3月、市役所ロビー）
 - ・DV等相談先啓発カード常時設置（保健福祉センター、図書館及び市内公共施設4か所）
 - ・DV防止の啓発展示（11月、市役所ロビー等）・国際女性デーの啓発展示（2月・3月、市役所ロビー）
- 3 尾張旭市ファミリーシップ制度を改正し、県内で同様の制度を設けている市町との連携を開始した。



第3次尾張旭市
男女共同参画プラン

一般会計

款-項目	7-1-2	事務事業	71-0904 小規模企業等振興事業	担当課等名	産業課
------	-------	------	--------------------	-------	-----

決 算 額 (円)		232,704,851
財 源 内 訳	国庫支出金	0
	県支出金	0
	地 方 債	0
	そ の 他	183,039,737
	一般財源	49,665,114

〔総括〕

小規模企業等補助金は、令和5年度と同様に5つの補助区分で実施し、継続的な事業者支援を図った。

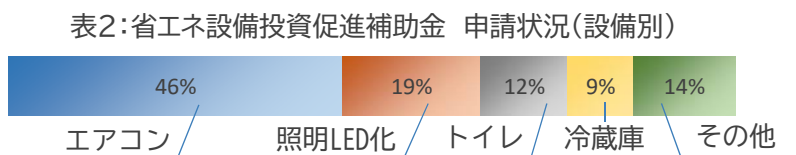
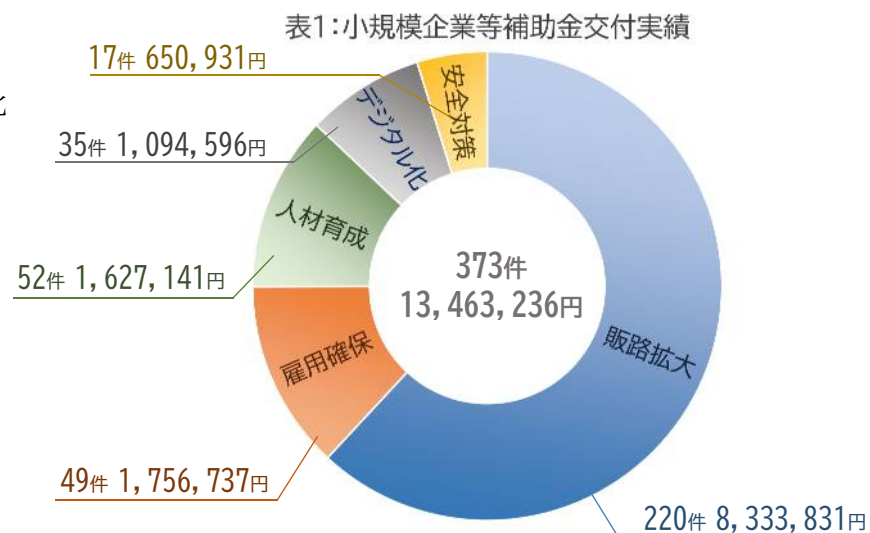
また、省エネ設備投資促進補助金により、省エネルギー化が見込める設備への更新及び導入費用を補助し、エネルギーコストの削減を促進した。

補助金を活用した事業者へのアンケートでは、回答者の79%が固定費削減の効果を実感しており、本事業の目的である経済的負担の軽減を達成できた。

今後も、小規模企業等の持続的発展を支援するため、必要な支援策を柔軟かつ迅速に展開し、市内産業の振興に取り組んでいく。

〔実績及び成果〕

- 小規模企業等補助金
区 分：人材育成、雇用確保、販路拡大、安全対策、デジタル化
件 数：373件（323事業者）
補助額：13,463,236円
補助率：1/2（上限5万円）
※各区分の交付実績は表1のとおり
- 省エネ設備投資促進補助金
件 数：136件（131事業者）
補助額：29,015,000円
補助率：1/2（上限30万円）
※申請状況（設備別）は表2のとおり
※事業者アンケートの結果は表3のとおり



一般会計

款-項目	7-1-3	事務事業	73-0202 にぎわい交流促進事業	担当課等名	産業課
------	-------	------	--------------------	-------	-----

決 算 額 (円)		22, 094, 570	〔総括〕 令和6年度は第4弾となる旭色プロジェクトを推進し、事業者と協力して紅茶やいちじくを使った新メニューを開発するとともに、デジタルスタンプラリーを実施し、市内のにぎわい創出につなげることができた。 市外に向けては、催事販売を3か所（ららぽーと愛知東郷、栄森の地下街まちのたね、星が丘テラスEAST広場）で開催し、大勢の人に尾張旭市をPRすることができた。 また、市の観光等のPRの拠点として、まち案内を運営し、駅前のにぎわい創出のため、キッチンカーを誘致したあさびーガーデン駅前マルシェを開催した。 今後も、旭色のPRを主軸とし、市内のにぎわい創出につなげていく。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	4, 094, 000	
	地 方 債	0	
	そ の 他	0	
一般財源		18, 000, 570	

〔実績及び成果〕

1 旭色 (6, 490, 000円)

令和5年度に実施した参加事業者との検討会で挙げた意見を反映させ、規模を拡大して第4弾を実施した。

- ・旭色事業参加店舗：47店舗（第3弾：41店舗）
- ・スタンプラリー参加者：771人（第3弾：809人） スタンプ獲得：2, 293個（第3弾：2, 121個）
- ・旭色催事販売in市民祭来場者：約2, 700人（2日間合計）



2 地域の魅力商品PR (1, 699, 610円)

旭色みやげや紅茶、商工会特産推奨品等の地域の魅力商品を市内外へ発信するため、各種PRや催事販売等を3か所で実施した。

- ・ららぽーと愛知東郷（12月14日） 来場者：約310人
- ・栄森の地下街まちのたね（令和7年2月3日～9日） 来場者：1, 889人（7日間合計）
- ・星が丘テラスEAST広場（令和7年3月1日） 来場者：約300人



催事販売

3 まち案内 (12, 789, 776円)

観光等のPRの拠点としてまち案内を運営し、尾張旭駅前ににぎわい創出のため、あさびーガーデン駅前マルシェとして物販ブースやキッチンカーを配置し、イベントを開催した。

- ・まち案内来場者：年間10, 510人 ・マルシェ開催日：4～9月の第2水曜日（8月は第1水曜日） 来場者：380人（6回合計）

4 紅茶PR補助金 (800, 000円)

「おいしい紅茶のまち尾張旭」の更なるPRのため、尾張旭市観光協会と共同でイベントや紅茶認定店の勧誘を実施した。

- ・おいしい紅茶の店認定店（令和6年11月1日時点）：15店舗（店舗数日本一）

一般会計

款・項目	4-1-6	事務事業	61-0101 環境配慮行動促進事業	担当課等名	環境課
------	-------	------	--------------------	-------	-----

決 算 額 (円)		870,946	〔総括〕 名古屋産業大学と連携して、あさひエコ大学や環境フォーラムを開催することで、市民の環境に対する意識の高揚を図った。 環境負荷低減の取組として緑のカーテン事業や環境への意識高揚のための各種環境学習講座を継続して実施した。 今後も、緑のカーテン事業や環境学習講座などの実施により、市民が主体的に環境に配慮した行動が実践できるよう、環境配慮への意識啓発を図っていく。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	0	
	そ の 他	0	
一般財源		870,946	

〔実績及び成果〕

1 緑のカーテン事業

環境負荷の軽減及び省エネルギーの取組推進として、緑のカーテン事業を実施した。

- ・市民及び事業者：ゴーヤ苗引換券配布（2,310人交換）及び写真公募・展示（15名応募）
- ・公共施設：市内公共施設でゴーヤを育成して緑のカーテンを設置

2 環境学習講座

環境に対する市民の意識高揚を図るため、企業や大学と連携して講座等を開催した。

- ・あさひエコ大学：名古屋産業大学から講師を招き開催（4回開催。延べ98人参加）

開催日	開催場所	内容（テーマ）
9月21日	スカイワードあさひ	マイクロプラスチックと健康問題 第二の水俣病
10月5日	スカイワードあさひ	阪神・淡路大震災から能登半島地震へ、いま、尾張旭がなさなければならない対策について
11月30日	スカイワードあさひ	脱炭素社会と企業活動について
12月21日	スカイワードあさひ	神社寺院の生物多様性ー自然共生サイト認定に向けた活動例

- ・環境フォーラム：名古屋産業大学と共催で開催（18人参加）



緑のカーテン
（西部浄化センター）



あさひエコ大学

一般会計

款-項目	4-1-6	事務事業	62-0102 野良猫緊急対策事業	担当課等名	環境課
------	-------	------	-------------------	-------	-----

決 算 額 (円)		946,400	〔総括〕 ふるさと納税の仕組みを活用したクラウドファンディングを実施し、集まった寄附金を財源として、野良猫の避妊去勢手術補助金を拡充した。 結果として、多くの野良猫に対し避妊等手術を実施することができた。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	0	
	そ の 他	942,000	
一般財源		4,400	

〔実績及び成果〕

野良猫によるトラブルや交通事故等で亡くなる猫が後を絶たず、野良猫の増加を防止するための更なる対策が必要であった。こうした状況の中で、野良猫の増加を防止するためには、野良猫の避妊去勢手術を集中的に実施する必要があったため、野良猫の避妊去勢手術補助金を拡充した。

○補助金

	R5	R6	
		通常	緊急
1匹あたり (上限)	8,000円	8,000円	18,000円
件数	76件	55件	110件
補助金額	444,500円	329,500円	946,400円



※ クラウドファンディング型ふるさと納税で集まった寄附金を財源とした。
 寄附金額合計1,020,000円（寄附者：55人）
 うち実施にかかった経費78,000円を差し引いた942,000円を補助金の歳出に充てた。

一般会計

款-項目	4-2-1	事務事業	62-0801 浄化槽汚泥等直接投入施設整備費負担金	担当課等名	環境課
------	-------	------	----------------------------	-------	-----

決 算 額 (円)		4,196,040	【総括】 公共下水道事業会計で実施された尾張旭市公共下水道事業基本計画の見直し業務のうち、現在昭和苑（汚泥等処理施設）で処理している浄化槽汚泥及びし尿を隣接する東部浄化センター（下水道処理施設）で処理していくための浄化槽汚泥等直接投入施設の整備に係る費用について、負担金として支出した。（予算の一部は令和7年度に繰越）
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	0	
	そ の 他	0	
一般財源		4,196,040	

【実績及び成果】

- 1 令和6年度負担分
4,196,040円
- 2 令和7年度繰越分
9,800,000円
- 3 合計
13,996,040円
- 4 事業予定

令和6年度	尾張旭市公共下水道事業基本計画見直し業務 （一部令和7年度に繰越）
令和7、8年度	尾張旭市公共下水道事業計画見直し業務
令和9年度	基本設計業務
令和10年度	詳細設計業務
令和11、12年度	浄化槽汚泥等直接投入施設新築 東部浄化センター汚泥処理設備更新工事



昭和苑



東部浄化センター

旭平和墓園事業特別会計

款-項	1-1	事務事業	62-0401 旭平和墓園運営事業	担当課等名	環境課
-----	-----	------	-------------------	-------	-----

決 算 額 (円)		12,616,177	〔総括〕 必要としているかたに墓地・墓所を提供し、墓園を適切に維持管理した。 今後も、一般墓地及び合葬式墓地の適切な維持管理を行う。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	0	
	そ の 他	12,616,177	
	一般財源	0	

〔実績及び成果〕

- 1 墓地を求めるかたの要望に応えるため、墓地の使用を許可した。（歳入：30,795,885円）

【一般墓地】

- ・2㎡：15区画、3㎡：9区画、4㎡：0区画 合計24区画
- ・永代使用料 11,577,000円
（＜2㎡＞422,000円×15区画＋＜3㎡＞583,000円×9区画＋＜4㎡＞778,000円×0区画）
- ・総区画数 4,678区画、使用許可数 3,996区画（令和6年度末）

【合葬式墓地】

- ・個別埋蔵墓所：82体分、共同埋蔵墓所：141体分
- ・永代使用料 19,218,885円
（＜個別＞（市民・元市民）150,000円×69体＋（市外）200,000円×13体＋
＜共同＞（市民・元市民）50,000円×123体＋（市外）80,000円×18体－＜減免＞1,321,115円）
- ・埋蔵可能数 4,500体 使用許可数 1,276体（令和6年度末）

- 2 墓園を快適に利用できる環境を維持するために、修繕、清掃、樹木剪定・草刈り等を実施した。

- ・修繕料 1,757,800円 標識修繕、トイレ修繕、階段手摺修繕、区画内通路修繕等
- ・環境整備委託料 5,856,103円 清掃、樹木剪定、草刈り、植木消毒等



一般墓地



合葬式墓地

旭平和墓園事業特別会計

款・項	1-1	事務事業	62-0405 旭平和墓園整備事業	担当課等名	環境課
-----	-----	------	-------------------	-------	-----

決 算 額 (円)		7,535,000
財 源 内 訳	国庫支出金	0
	県支出金	0
	地 方 債	0
	そ の 他	7,535,000
	一般財源	0

〔総括〕

旭平和墓園の一般墓地利用者の利便性向上を図るため、令和7年度の区画内通路の舗装工事の実施に向けて、令和6年度は、実施設計を行った。

今後は、実施設計の結果に基づき、令和7年度に区画内通路の舗装工事を実施する。

〔実績及び成果〕

1 実施内容

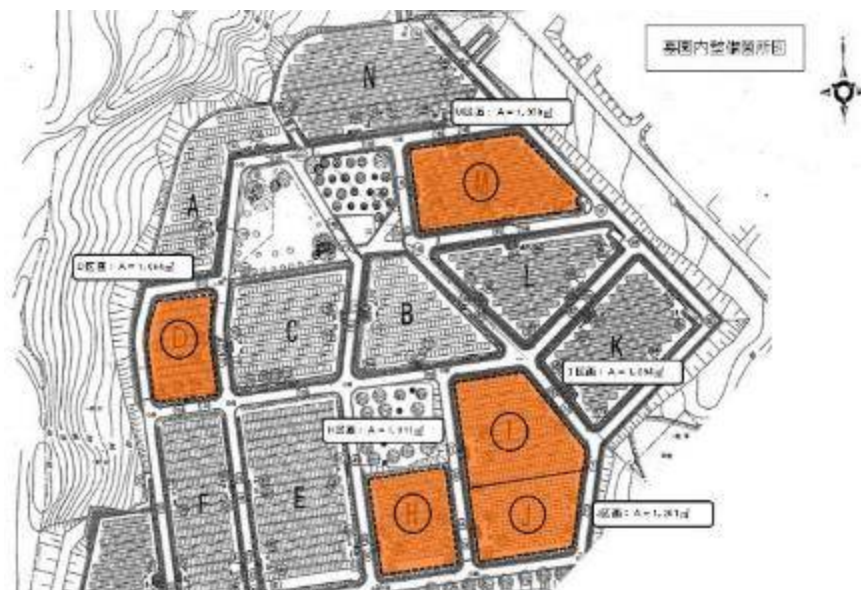
区画内通路舗装工事実施設計委託料（7,535,000円）

一般墓地において、現在、区画内通路が未舗装である区画のうち5区画（D・H・I・J・M）について、区画内通路の舗装工事を行うための実施設計を行った。

2 事業予定

令和6年度 実施設計

令和7年度 舗装工事の実施（完了）



一般会計

款-項目	3-1-1	事務事業	15-0306 生活困窮者自立支援事業	担当課等名	福祉政策課（地域福祉課・こども家庭課）
------	-------	------	---------------------	-------	---------------------

決 算 額（円）		10,954,699	【総括】 自立相談支援事業における相談件数は昨年度と同程度だが、就労者数は減少した。その要因としては、高齢者の方からの相談割合が増加し、就労に結びつくケースが減少したことが考えられる。 生活困窮相談及びひきこもり相談において、様々な課題を原因とする相談が寄せられるため、今後も関係機関等と情報共有・連携を図りながら支援を行う。
財 源 内 訳	国庫支出金	3,070,475	
	県支出金	5,471,000	
	地 方 債	0	
	そ の 他	0	
一般財源		2,413,224	

【実績及び成果】

生活困窮者自立支援法に基づき、下記の事業を実施した。

※「7 子どもの学習支援」については、令和7年度からこども家庭課に事務移管

事業内容	R5年度	R6年度	事業内容	R5年度	R6年度	事業内容	R5年度	R6年度
1 自立相談支援			3 就労準備支援			6 住居確保給付金		
新規相談者	144人	146人	利用決定者数	0人	0人	支給世帯数	14世帯	5世帯
延べ相談件数	976件	910件	継続支援中	0人	0人	支給金額	1,474,300円	863,000円
就労者数	27人	15人	4 家計改善支援			7 子どもの学習支援		
2 ひきこもり支援			利用決定者数	1人	1人	登録者数	31人	37人
支援対象者数	6人	12人	継続支援中	0人	1人	中学生	18人	17人
自立者数等	3人	0人	5 一時生活支援			高校生	13人	20人
就労	2人	0人	支援対象者数	2人	3人	中学3年生の進学率	100%	100%
医療機関引継	1人	0人	宿泊場所供与日数	15日	15日	高校3年生の進学率	66.7%	71.4%

一般会計

款-項目	3-1-5	事務事業	01-0302 住民税非課税世帯等価格高騰給付金事業（追加分）（繰越明許費）	担当課等名	福祉政策課（地域福祉課）
------	-------	------	--	-------	--------------

決 算 額（円）		206, 392, 914	〔総括〕 エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受け、令和5年度住民税非課税世帯には1世帯当たり7万円、令和5年度住民税均等割のみ課税世帯には1世帯当たり10万円を給付し、それらの世帯で扶養されている児童がいる場合は、1人当たり5万円を加算給付として給付した。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	0	
	そ の 他	0	
一般財源		206, 392, 914	

〔実績及び成果〕

1 対象者

- (1) 住民税非課税世帯
世帯全員の令和5年度分の住民税均等割が非課税である世帯
- (2) 住民税均等割のみ課税世帯
令和5年度分の住民税所得割が課されていない者のみで構成される世帯
- (3) こども加算
(1)又は(2)の世帯において扶養している平成17年4月2日生まれ以降（18歳の学年以下）の児童に対する加算

2 支給実績

- (1) 住民税非課税世帯
412世帯×70,000円＝28,840,000円…①
 - (2) 住民税均等割のみ課税世帯
1,154世帯×100,000円＝115,400,000円（令和6年度執行）…②
 - (3) こども加算
828人×50,000円＝41,400,000円（令和6年度執行）…③
- （参考）令和5年度執行分 5,873世帯×70,000円＝411,110,000円
令和5・6年度合計 6,285世帯×70,000円＝439,950,000円

3 決算額

206, 392, 914円（内訳：事業費185,640,000円（①+②+③）、事務費20,752,914円）

一般会計

款-項目	3-1-5	事務事業	15-0307 住民税非課税世帯等価格高騰給付金給付事業	担当課等名	福祉政策課（地域福祉課）
------	-------	------	------------------------------	-------	--------------

決 算 額（円）		153,418,865	〔総括〕 エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受け、令和6年度に新たに住民税非課税及び住民税均等割のみ課税となった世帯に対し、1世帯当たり10万円を給付し、それらの世帯で扶養されている児童がいる場合は、1人当たり5万円を加算給付として給付した。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	0	
	そ の 他	0	
一般財源		153,418,865	

〔実績及び成果〕

1 対象者

- (1) 令和6年度に新たに住民税非課税となった世帯
世帯全員の令和6年度分の住民税均等割が非課税である世帯
- (2) 令和6年度に新たに住民税均等割のみ課税となった世帯
令和6年度分の住民税所得割が課されていない者のみで構成される世帯
- (3) こども加算
(1)又は(2)の世帯において扶養している平成18年4月2日生まれ以降（18歳の学年以下）の児童に対する加算

2 支給実績

- (1) 令和6年度に新たに住民税非課税となった世帯
867世帯×100,000円＝86,700,000円
- (2) 令和6年度に新たに住民税均等割のみ課税となった世帯
393世帯×100,000円＝39,300,000円
- (3) こども加算
237人×50,000円＝11,850,000円

3 決算額

153,418,865円（内訳：事業費137,850,000円、事務費15,568,865円）

一般会計

款-項目	3-1-3	事務事業	14-0203 地域生活支援事業	担当課等名	福祉課（地域福祉課）
------	-------	------	------------------	-------	------------

決 算 額（円）		153,090,454	〔総括〕 障がい者の社会参加などを促進するため各種事業を実施し、障がい者の福祉の増進や安心して暮らせる地域社会の実現に寄与した。 今後は、保健・医療・福祉等の関係機関が連携し、医療的ケア児や精神障がい者等が安心して地域で暮らせるように包括的な支援体制を構築するとともに、必要な施策を講じていく。
財 源 内 訳	国庫支出金	38,895,652	
	県支出金	19,447,825	
	地 方 債	0	
	そ の 他	0	
一般財源		94,746,977	

〔実績及び成果〕

基幹相談支援センターと連携し、障がい者の各種相談に応じ必要なサービス提供を行った。また、障害者地域自立支援連携会議において、地域生活支援拠点に係る評価を行ったほか、医療・保健・福祉等が連携した包括的な支援体制構築に向け、昨年に引き続き「医療関係者と地域支援者との理解共有」を目的とした勉強会を開催した。また、障害福祉サービス事業所等向けの人材育成研修や障がい者の雇用促進の啓発のためハローワーク瀬戸と企業訪問を行った。

	令和5年度		令和6年度	
移動支援事業	利用者	延べ 800人 39,761,935円	利用者	延べ781人 39,405,866円
日中一時支援事業	利用者	延べ1,000人 36,444,510円	利用者	延べ938人 34,782,290円
訪問入浴サービス事業	利用者	延べ 166人 12,712,700円	利用者	延べ161人 12,585,700円
地域活動支援センター事業	利用者	延べ 409人 20,157,950円	利用者	延べ192人 8,652,972円
日常生活用具給付等事業		2,017件 21,362,287円		1,941件 19,772,300円
基幹相談支援センター運営事業		1事業所 31,000,000円		1事業所 32,000,000円
グループホーム事業費補助事業		10事業所 2,829,822円		9事業所 2,810,528円
その他事業		2,461,852円		3,080,798円

一般会計

款-項目	3-1-3	事務事業	14-0204 障がい者タクシー基本料金助成事業	担当課等名	福祉課（地域福祉課）
------	-------	------	--------------------------	-------	------------

決 算 額（円）		2,708,080	【総括】 公共交通機関の利用が困難な重度の障がい者に対して、タクシー基本料金を助成することで、障がい者の外出を支援し、自立と社会参加に寄与した。 今後も、障がい者の自立と社会参加を促進するため、事業を継続して行うとともに、必要に応じて事業の見直しを行う。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	0	
	そ の 他	0	
一般財源		2,708,080	

【実績及び成果】

1人につき1枚当たり上限500円のタクシー基本料金助成券を年間36枚交付し、障がい者の外出を支援し、自立と社会参加に寄与した。

	令和5年度	令和6年度
対象者数	1,599人	1,591人
交付者数	765人	765人
交付率	47.8%	48.1%
交付枚数	27,540枚	27,540枚
利用枚数	5,530枚	5,229枚
利用率	20.1%	19.0%
助成金額	2,647,450円	2,499,300円

一般会計

款・項目	3-1-3	事務事業	14-0206 日常生活支援券支給事業	担当課等名	福祉課（地域福祉課）
------	-------	------	---------------------	-------	------------

決 算 額（円）		25,686,830	【総括】 障がい者等への日常生活支援券の配布と実態調査を同時に実施することにより、障がい者の日常生活の支援と市内の商工の活性化を図るとともに、困りごとなどの把握をし、地域の見守りに寄与した。また、本事業の事務の一部を市内障がい者施設へ委託し、障がい者雇用の機会の創出につなげた。 今後も、障がい者等の日常生活の支援、市内の商工の活性化を推進するとともに、地域の民生委員の見守り機能を備えた本事業を継続していく。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	0	
	そ の 他	0	
一般財源		25,686,830	

【実績及び成果】

- 障がい者等の日常生活の支援や市内事業者の活性化、障がい者等への理解促進の一助となった。また、お住まいの地区の担当民生委員が訪問し、日常生活支援券を配布するとともに実態調査を実施し、困りごとの把握や見守りにつなげることができた。
- 8月1日時点で市内在住の非課税で障害者手帳を所持する方等（生活保護受給者、施設入所者を除く）に対し、1人当たり1万円分の日常生活支援券を支給した。

	令和5年度	令和6年度
対象者	2,454人	2,541人
支給者	2,405人 (支給率98.0%)	2,455人 (支給率96.6%)
支給額	24,050,000円	24,550,000円
実際の利用額	23,448,500円	23,525,500円
利用率	97.5%	95.8%



一般会計

款-項目	3-3-2	事務事業	15-0302 生活保護業務	担当課等名	福祉課（地域福祉課）
------	-------	------	----------------	-------	------------

決 算 額（円）		353,450,411	〔総括〕 生活保護法に基づき、生活困窮の程度に応じて必要な保護を実施することにより、健康で文化的な最低限度の生活を保障し、自立を支援することができた。 今後も、被保護者に対して適正な保護を行うとともに、自立を支援していく。
財 源 内 訳	国庫支出金	298,875,000	
	県支出金	4,243,568	
	地 方 債	0	
	そ の 他	7,148,057	
	一般財源	43,183,786	

〔実績及び成果〕

- 被保護者に対して適正な保護を行い、必要最低限度の生活水準の維持を図るとともに、ハローワークと連携した就労支援の実施により自立助長に向けた支援を行った。
- 生活保護の状況
生活保護の人員及び世帯数は、令和5年度に比べて増加している。
保護の開始理由は、「預貯金等の減少」が多く、廃止理由は、「死亡」や「就労収入の増加・取得」によるものが多くなっている。

項目	令和5年度	令和6年度
被保護者（月平均）	203人	210人
被保護者世帯（月平均）	172世帯	176世帯
開始世帯	32世帯	47世帯
廃止世帯	33世帯	33世帯
就労等による自立世帯	3世帯	5世帯

項目	延人数(人)	金額(円)
生活扶助	2,297	109,908,729
住宅扶助	2,213	59,007,585
教育扶助	90	817,080
介護扶助	487	11,112,070
医療扶助	2,348	167,486,510
出産扶助	0	0
葬祭扶助	9	2,012,450
生業扶助	26	244,580
就労自立給付金	4	106,787
進学・就職準備給付金	0	0
保護施設事務費	12	2,754,620

一般会計

款-項目	3-1-2	事務事業	13-0103 高齢者福祉事業	担当課等名	長寿課
------	-------	------	-----------------	-------	-----

決 算 額 (円)		20,262,677	〔総括〕 市営バスやタクシーの利用を助成するなど、高齢者の外出機会を創出するとともに、就労、趣味活動、ボランティア活動などの機会を増やし社会参加を促進することを目的としている。 その中で、高齢者の外出機会の増加を支援を促進するため①タクシー利用券②市営バスあさび一号利用券③タクシー利用券と市営バスあさび一号利用券（半数ずつ）と3パターンで助成を行った。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	1,327,000	
	地 方 債	0	
	そ の 他	0	
一般財源		18,935,677	

〔実績及び成果〕

- 助成内容：①タクシー利用券②市営バスあさび一号利用券③タクシー利用券と市営バスあさび一号利用券（半数ずつ）両方と3パターンで選択。令和6年度実績（選択率①タクシー利用券52%②市営バスあさび一号13%③両方35%）
- 4月1日時点で80歳以上の高齢者に対し交付。（4,785件）
10月までに80歳になられた方に交付。（242件）
- 利用券により、タクシー基本料金相当額又は市営バスあさび一号普通運賃相当額を助成した。

項目		4月交付	10月交付
タクシー	交付者	2,490 （交付率 33.8 %）	119 人 （交付率 27.7 %）
	利用件数	25,317件 （利用率 29.1 %）	
バス	交付者	626 （交付率 8.5 %）	45 人 （交付率 10.5 %）
	利用件数	36,593件 （利用率 40.6 %）	
両方	交付者	1,669 （交付率 22.7 %）	78 人 （交付率 18.2 %）

※利用件数はタクシー・バス両方選択者も含む。

- 成果
タクシー利用基本料金相当額又は市営バスあさび一号普通運賃相当額を助成することで、高齢者の健康的な生活の維持・向上に寄与した。

一般会計

款-項目	3-1-2	事務事業	13-0105 シルバー人材センター運営費補助事業	担当課等名	長寿課
------	-------	------	---------------------------	-------	-----

決 算 額 (円)		39,800,000	〔総括〕 公益社団法人尾張旭市シルバー人材センターが行う事業の経費を補助し、センターの円滑な運営を促進し、高齢者の就労を支援することで、高齢者福祉の増進を図る。シルバー人材センターの安定した運営により、社会参加を希望する高齢者の就業機会が増え、高齢者の生きがいづくりに寄与した。 今後も、社会参加を希望する高齢者の就業機会の拡大に向けて、シルバー人材センターが就業に関する情報の収集や提供、相談に取り組める体制づくりを支援する。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	0	
	そ の 他	0	
	一般財源	39,800,000	

〔実績及び成果〕

1 目的

公益社団法人尾張旭市シルバー人材センターが行う事業の経費を補助し、センターの円滑な運営を促進し、高齢者の就労を支援することで、高齢者福祉の増進を図る。

2 実施内容

公益社団法人尾張旭市シルバー人材センターに対して、補助金を交付した。

(1) 補助実績 39,800,000円

(2) 補助対象事業

- ・就業機会の開拓及び提供に係る経費
- ・安全就業の徹底と健康維持管理に係る経費
- ・会員の福利事業に係る経費
- ・広報及び調査活動の強化に係る経費
- ・会員の技能と知識の向上に係る経費等

(3) 会員数427人 (令和7年3月31日現在)

(4) 就労実績 40,750人、212,960,827円 (シルバー派遣事業を含む)

3 成果及び今後の取組

シルバー人材センターの安定した運営により、社会参加を希望する高齢者の就業機会が増え、高齢者の生きがいづくりに寄与した。

今後も、社会参加を希望する高齢者の就業機会の拡大に向けて、シルバー人材センターが就業に関する情報の収集や提供、相談に取り組める体制づくりを支援する。

一般会計

款-項目	3-1-2	事務事業	13-0440 高齢者福祉サービス事業	担当課等名	長寿課
------	-------	------	---------------------	-------	-----

決 算 額 (円)		81,731,752	【総括】 養護老人ホームへの入所により、自宅での生活が困難な高齢者が、健康的で安定した生活を送ることに寄与した。 今後も、自宅での生活が困難な高齢者からの相談に応じ、必要であれば速やかに入所手続きを行い、安心な住まい・生活を確保できるよう努める。 (老人保護措置費 決算額：39,529,382円)
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	0	
	そ の 他	13,548,500	
一般財源		68,183,252	

【実績及び成果】

1 目的

老人福祉法第11条の規定に基づく養護老人ホームへの入所措置を行い、心身の機能低下や家庭環境及び住居の状況などの理由や経済的な理由により、居宅において自立して生活することが困難な高齢者の支援をする。

2 実施内容

在宅で生活することが困難な高齢者に、養護老人ホームへの入所措置を行った。

	令和5年度	令和6年度
新入所者	4人	4人
退所者	2人	3人
入所者数	19人	19人

介護保険特別会計

款	1 総務費	担当課等名	長寿課
---	-------	-------	-----

決算額(円)	185,003,633
財源内訳	
国庫支出金	2,255,000
県支出金	0
地方債	0
その他	103,101
一般財源	182,645,532

〔総括〕

高齢化の進行により、介護保険第1号被保険者（65歳以上の高齢者）が増加していることや、保険料率の見直しに伴い、介護保険料の現年賦課分の調定額が増加している。

現年賦課分については、第1号被保険者の約9割が特別徴収（年金からの天引き）対象者であることから、収納率に大きな変化はない。今後も収納課との連携を密にし、収納率の向上に努める。

第1号被保険者のうち、団塊世代（昭和22～24年生まれ）が後期高齢者に移行していることにより、要介護・要支援認定者の総数が増加している。介護認定調査を安定的に実施していくため、民間委託を拡大した。今後も調査の安定実施に向けた方策を検討していく。

〔実績及び成果〕

1 介護保険料調定額と収入額

		令和5年度	令和6年度
現年賦課分	調定額	1,292,324,200円	1,512,640,800円
	収入額	1,286,260,800円	1,506,663,200円
滞納繰越分	調定額	11,633,300円	11,745,013円
	収入額	1,299,487円	1,300,013円

2 介護保険料収納率

	令和5年度	令和6年度
現年賦課分	99.53%	99.60%
滞納繰越分	11.17%	11.07%

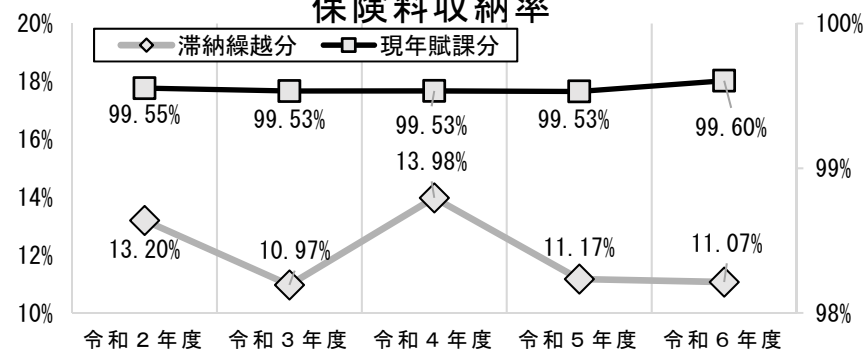
3 要介護・要支援認定者

	令和5年度	令和6年度
要介護認定者	2,523人	2,713人
要支援認定者	1,427人	1,330人

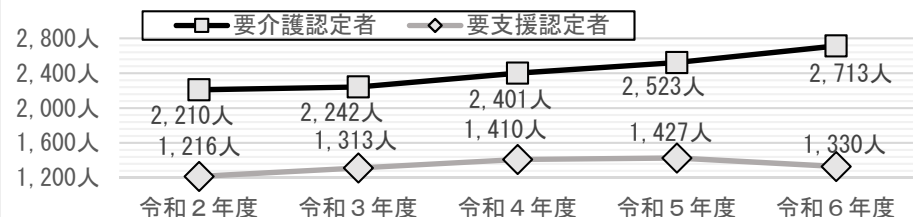
4 介護認定調査の民間委託件数

令和5年度	令和6年度
284件（10.0%）	1,807件（49.0%）

保険料収納率



要介護・要支援認定者



介護保険特別会計

款	2 保険給付費	担当課等名	長寿課
---	---------	-------	-----

財 源 内 訳	決 算 額 (円)	6,084,265,550	〔総括〕 要介護・要支援認定を受けた介護保険被保険者が介護保険サービスを利用した際に、介護保険給付費を支給した。 要介護・要支援認定者数の増加や令和6年度介護報酬改定に伴い、保険給付費全体が増加している。 今後も介護予防への取組と介護給付適正事業の実施により、保険給付費の急激な増加の抑制を図る。
	国庫支出金	1,179,888,707	
	県支出金	797,454,000	
	地 方 債	0	
	そ の 他	2,468,955,380	
	一般財源	1,637,967,463	

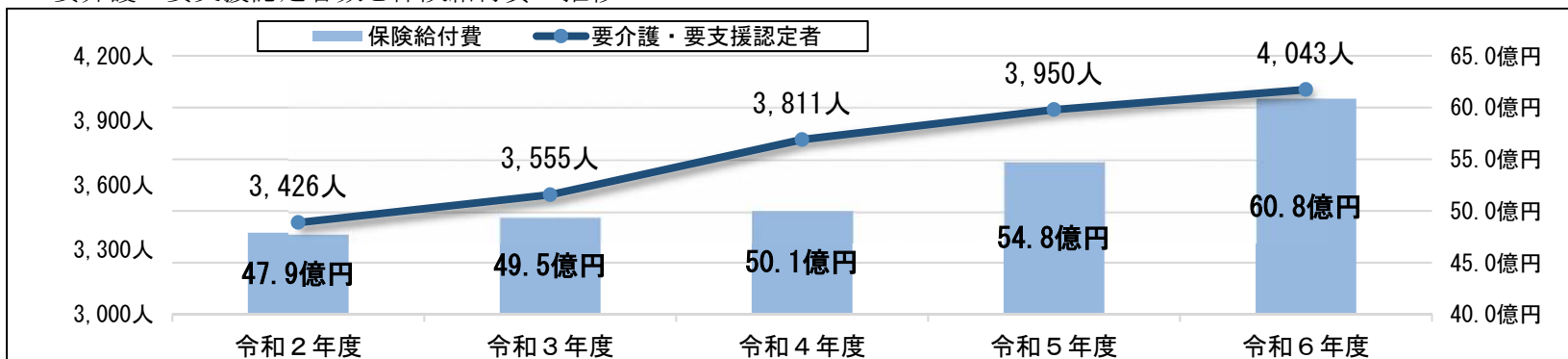
〔実績及び成果〕

1 保険給付費 6,084,265,550円

	令和5年度		令和6年度	
	件数	支出金額	件数	支出金額
介護サービス等諸費	86,296件	5,049,698,863円	93,867件	5,614,270,046円
介護予防サービス等諸費	16,474件	201,918,460円	16,905件	209,804,807円
その他諸費	101,834件	3,528,538円	109,802件	3,804,627円
高額介護サービス等費	10,446件	139,698,029円	11,910件	165,650,165円

	令和5年度		令和6年度	
	件数	支出金額	件数	支出金額
高額医療合算介護サービス等費	748件	27,625,142円	804件	29,441,202円
特定入所者介護サービス等費	2,611件	59,437,248円	2,778件	61,294,703円
要介護・要支援認定者数	3,950人		4,043人	

2 要介護・要支援認定者数と保険給付費の推移



介護保険特別会計

款	3 地域支援事業費	担当課等名	長寿課
---	-----------	-------	-----

決 算 額 (円)		397,951,413	〔総括〕 一般介護予防事業では、要介護状態の発生をできる限り遅らせるため、フレイル予防に関する取組を行った。 在宅医療・介護連携推進事業では、瀬戸旭医師会に事業委託し、もーやっこネットワーク(ICT)を活用した研修会等を行うなど、在宅医療・介護の連携を図った。 認知症総合支援事業では、尾張旭市社会福祉協議会へ事業委託し、認知症の早期診断・早期対応に向けた支援を行った。 今後も各事業を通して、高齢者を地域で支える体制づくりを推進していく。
財 源 内 訳	国庫支出金	130,649,964	
	県支出金	58,843,958	
	地 方 債	0	
	そ の 他	127,545,623	
一般財源		80,911,868	

〔実績及び成果〕

1 一般介護予防事業 7,847,218円

区分	令和5年度	令和6年度
買い物リハビリテーション事業	48回 参加者延べ292人	49回 参加者延べ311人
ミニデイサービスでの介護予防教室	103人	139人
介護予防講演会	581人	43人
地域リハビリテーション専門職派遣事業	415人	447人
認知症予防教室(運動型)	6回 延べ62人	6回 延べ58人
認知症予防教室(学習型)	18回 延べ73人	19回 延べ314人

2 在宅医療・介護連携推進事業 5,563,219円

区分	令和5年度	令和6年度
医療・介護関係者が参画する会議の開催	29回	26回
講演会、研修会	4回、参加者数延べ113人	4回、参加者数延べ147人
もーやっこネットワークへの登録	462施設、1052人	468施設、1108人

3 認知症総合支援事業 10,571,000円

区分	令和5年度	令和6年度
初期集中支援チームの訪問支援対象者数	延べ 18人	延べ 19人
認知症サポーター養成講座	8回、572人	13回、488人

一般会計

款-項目	4-1-2	事務事業	11-0304 予防接種事業	担当課等名	健康課
			01-0401 新型コロナウイルスワクチン接種事業（繰越明許費）		

決 算 額（円）		386,280,067	【総括】 疾病への感染予防、発病の防止、症状の軽減、病気のまん延防止などを目的として、定期予防接種を個別接種により実施した。令和6年度は、予防接種法施行令の改正により新型コロナウイルス感染症が定期予防接種に追加されたことに伴い、定期接種を開始した。 また、50歳以上の方を対象に、帯状疱疹の発症・重症化予防のため、ワクチン接種費用の一部助成を開始した。 今後も、予防接種の接種機会を安定的に確保するとともに、社会全体として一定の接種率を維持できるよう努めていく。
財 源 内 訳	国庫支出金	2,317,960	
	県支出金	0	
	地 方 債	0	
	そ の 他	23,862,500	
	一般財源	360,099,607	

【実績及び成果】

1 接種実績

延べ接種者数（人）

種類	こどもの予防接種※1		HPVワクチン※2				高齢者インフルエンザ		高齢者新型コロナ※3		高齢者肺炎球菌※4	
	接種者	接種率（％）	定期接種		キャッチアップ接種		接種者	接種率（％）	接種者	接種率（％）	接種者	接種率（％）
			接種者	接種率（％）	接種者	接種率（％）						
令和5年度	15,363	98.9	503	8.8	484	3.4	12,169	55.2	—	—	521	20.1
令和6年度	13,487	99.5	994	17.4	2,753	18.9	11,087	50.0	2,656	12.0	207	22.5

※1 乳幼児及び児童生徒の接種率

※2 HPVワクチン：キャッチアップ対象者（平成9年4月2日～平成20年4月1日生まれ）

※3 令和6年度から定期予防接種として接種開始

※4 令和5年度は、経過措置対象者を含む

2 帯状疱疹ワクチンの助成

帯状疱疹の発症・重症化予防のため、令和6年度から50歳以上の方を対象に、ワクチン接種費用の一部を助成し、疾病の予防及び健康づくりを推進した。

帯状疱疹ワクチン接種委託料 24,634,000円 市外滞在者等予防接種費用助成金（該当分）240,000円
延べ回数（回）

種類	生ワクチン	組換えワクチン
令和6年度	116	2,441

【助成額】

・生ワクチン 1回 4,000円
・組換えワクチン 1回 10,000円

一般会計

款-項目	4-1-3	事務事業	11-0202 母子保健指導事業	担当課等名	健康課（こども家庭課）
------	-------	------	------------------	-------	-------------

決 算 額（円）		4,186,187	【総括】 令和6年度は、産後ケア事業の充実として、訪問型のサービスを開始した。宿泊、通所、訪問のサービスが利用できるようになり、利用者の状況に応じて選択できる体制となった。 また、産後ケア事業の認知度もあがったことで、利用希望者が大幅に増加した。 今後も利用希望者の増加が見込まれるため、実施機関の拡充や、利用までのスムーズな連絡調整の体制づくりが必要である。 産後ケア事業のみならず、新生児訪問等、産婦の希望するサービスが円滑に利用できるよう、情報提供していくことが必要である。
財 源 内 訳	国庫支出金	965,000	
	県支出金	16,300	
	地 方 債	0	
	そ の 他	183,100	
一般財源		3,021,787	

【実績及び成果】

1 産後ケア事業（産後ケア業務委託料：1,766,000円）

産後の心身の不調や授乳、子育てに不安があり、家族から十分な支援が受けられない方を対象として、母体の保護、保健指導を行うため、医療機関、助産所への入院・入所又は通院・通所、若しくは自宅等へ助産師の訪問サービスを行った。

【利用状況】

利用者実人数		24人		令和5年度		令和6年度
内 訳	宿泊型	実	延	医療機関	4	6
		15人	1泊2日 10人 2泊3日 5人 3泊4日 3人	助産所	2	3
		7人	16人	※通所型と訪問型を利用：3人 ※宿泊型と通所型を利用：1人		
		6人	10人			

2 妊娠届出数 484件（令和5年度：469件）

妊娠届出時には全ての妊婦と面談し、妊娠・出産、子育てに関する情報提供や、相談に対応した。

3 産婦・新生児訪問、未熟児訪問（新生児訪問指導助産師委託料：1,044,000円）

訪問を希望した、生後1か月（里帰りをしていただ方は2か月頃）までの家庭に助産師が訪問し、母子の健康状態の把握、育児支援・保健指導を行った。（訪問件数：294件）

一般会計

款-項目	4-1-3	事務事業	11-0401 妊産婦・乳幼児健康診査事業	担当課等名	健康課（こども家庭課）
------	-------	------	-----------------------	-------	-------------

決 算 額（円）		67,675,914	【総括】 令和6年度から、令和6年4月1日以降に出産した産婦を対象に、産婦健診受診券の交付を1回から2回に拡充し、産後の身体面、心理面での問題を早期に発見し、継続的な支援ができるようになった。また、健診受診券を交付し、経済的な支援を行うことで、安心して必要な健診を受けることに繋がった。 妊娠期から出産後まで、健診の場を活用することで、異常の早期発見や、支援が必要な妊婦、産婦、乳児の把握をし、必要な支援に繋げることができた。
財 源 内 訳	国庫支出金	2,993,000	
	県支出金	0	
	地 方 債	0	
	そ の 他	0	
一般財源		64,682,914	

【実績及び成果】

- 1 妊産婦・乳児健康診査（個別健診）（個別健診委託料：60,452,220円）
 妊娠届出時に、愛知県内の医療機関等で利用できる受診券（妊婦健診14回、子宮がん検診1回、産婦健診2回、新生児聴覚検査1回、乳児健診2回）を交付。利用方法について説明を行い受診勧奨を行った。

		令和5年度	令和6年度
妊娠届出者数（人）		469	484
件数 【延べ】 （件）	妊婦健診	6,106	5,749
	子宮がん検診	449	451
	産婦健診	479	809
	乳児健診	964	910
	新生児聴覚検査	487	430

- 2 乳幼児健康診査（集団健診）（集団健診委託料：3,130,384円）
 3か月、1歳6か月、3歳児健康診査及び、赤ちゃん育児・離乳食相談（6～7か月児対象）、2歳3か月児歯科健診・健康相談を実施し、乳幼児の健康状態の把握、子育て支援を行った。全ての乳幼児を対象に個人通知を送付し、受診勧奨を行った。また、未受診児には、訪問や電話等で状況確認を行った。

	令和6年度 実施状況			
	年間回数 （回）	対象者 （人）	受診者 （人）	受診率 （％）
3～4か月児健診	12	504	496	98.4
赤ちゃん・育児離乳食相談	12	532	495	93.0
1歳6か月児健診	12	621	613	98.7
2歳3か月児歯科健診・健康相談	12	645	596	92.4
3歳児健診	16	688	666	96.8

- 3 県外受診費助成（県外個別健診助成金：1,403,420円）
 里帰り等で、愛知県外の医療機関で妊婦健診等を受診した場合の健診費用の助成を行った。

助成実人数：32人（妊婦健診156人（延）、子宮がん検診3人、産婦健診42人（延）、新生児聴覚検査26人、乳児健診25人）

一般会計

款-項目	4-1-4	事務事業	11-0104 市民総元気まる事業	担当課等名	健康課
------	-------	------	-------------------	-------	-----

決 算 額 (円)		14,497,036	〔総括〕 元気まる測定及びあたまの元気まるにより、生活習慣の改善指導を行い市民の健康意識の向上を図っている。元気まる測定のシステムを活用し、令和5年度から開始した健康ポイントプログラム事業により、健康無関心層への働きかけを行った。 あたまの元気まるが事業開始から10年経過し、受検者数が減少傾向であることから、検査方法の見直しを行い、令和6年度からは新たな検査方法で実施し、受検者数を増やすことができた。 今後も各事業の周知を図り、市民が健康意識をより高めていくことができる取組を推進する。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	111,000	
	地 方 債	0	
	そ の 他	2,704,000	
一般財源		11,682,036	

〔実績及び成果〕

1 元気まる測定

問診、体力測定の結果等をもとに、個人にあった健康づくりのプログラムシートを発行し、保健師による結果説明及び生活習慣の保健指導を行った。歩数や血圧・筋肉量等を、専用の活動量計やスマートフォンのアプリに反映することで、日々の健康づくりの行動が見える化できるプログラムとしている。市内10か所にある元気まるステーションや毎週実施している元気まるトレーニングの活用を促し、評価対象者に3か月後効果測定を行った。

また、老化による身体の機能低下を測定するため、75歳以上が中心の団体へ出前講座として行った。

(受検者 599人 前年度 595人) 3か月後改善率 55.5% (評価対象者 110人)

2 健康ポイントプログラム事業

専用の活動量計又はスマートフォンアプリを使用し、日々の歩数、血圧・体組成測定、健康診査受診、健康づくり教室参加等でポイントを貯め、貯まったポイントに応じて電子マネー等に交換を行った。

(参加者 208人 うちポイント交換者 193人 前年度参加者 280人 うちポイント交換者 259人)

3 あたまの元気まる

VR機器を利用し、画面上の質問に視線の動きで回答することで認知機能をチェックする「あたまの元気まる」を実施した。判定結果をもとに保健師が個別指導を行った。

リニューアルした検査方法では、1人あたりの検査時間が5分程度であることや、対面式ではないため気軽に受けられることから受検者数が増加した。保健福祉センターのほか、ドラッグストアやショッピングセンター等地域に出向いて実施した。

(受検者 515人 前年度 154人)

一般会計

款-項目	4-1-4	事務事業	11-0307 がん検診等支援事業	担当課等名	健康課
------	-------	------	-------------------	-------	-----

決 算 額 (円)		180,226,735	【総括】 がん検診等を6月から10月（一部12月）に実施し、市民の健康保持を図ることができた。 乳がん・子宮頸がん検診未受診者に、市内出身タレントの写真とメッセージ付きのはがきを送付し受診勧奨を行い、受診率を向上させることができた。 がん患者への支援のため、がん患者アピアランスケア支援事業のほか、令和6年度からは、末期と診断された若年のがん患者の、在宅療養費用の経済的負担の軽減を図り、住み慣れた自宅で最後まで自分らしく安心して日常生活を送ることを支援する、若年がん患者在宅療養支援事業を開始した。引き続き、必要な情報が届くよう、きめ細かい周知に努めていく。
財 源 内 訳	国庫支出金	2,903,000	
	県支出金	2,799,000	
	地 方 債	0	
	そ の 他	2,979,600	
一般財源		171,545,135	

【実績及び成果】

1 がん検診等

瀬戸旭医師会に委託し、がん検診等を実施した

対象者に受診券を郵送したほか、広報誌、ホームページ等で受診方法等を周知した。また、乳がん検診は満40歳、子宮頸がん検診は満20歳の女性（国の指定条件該当者）に無料受診クーポン券を送付した。

（ ）は前年度実績

	肺がん	胃がん		大腸がん	乳がん	子宮頸がん	HPV検査	前立腺がん	肝炎ウイルス検査
受診者数 (人)	10,066 (10,110)	(X線) 2,377 (2,505)	(内視鏡) 2,112 (2,170)	8,243 (8,244)	2,271 (2,170)	3,278 (2,887)	175 (148)	1,093 (1,017)	641 (667)
受診率 (%)	19.4 (19.6)	8.7 (9.1)		15.9 (16.0)	8.4 (8.0)	9.3 (8.2)	21.1 (19.0)	5.8 (5.5)	7.7 (8.0)

※ 受診率算出の母数は、R6年度から実際の人口で算出（比較のため前年度も同様に算出）

2 アピアランスケア支援事業

がん患者の治療と社会参加の両立を支援し、療養生活の質の向上を図ることを目的とし、医療用補整具（ウィッグ又は乳房補整具）の購入に要する費用を助成した。（40件、777,000円（前年度 56件、1,076,000円））

3 若年がん患者在宅療養支援事業（新規事業）

末期の若年がん患者（40歳未満）の在宅療養における費用の経済的負担の軽減を図り、住み慣れた自宅で最後まで自分らしく安心して日常生活を送ることを支援するために、訪問介護等の在宅支援や、福祉用具の貸出し及び購入費用などを助成する。

（実績なし）

一般会計

款-項目	3-1-4	事務事業	12-0103 国民健康保険特別会計繰出金事業	担当課等名	保険医療課
------	-------	------	-------------------------	-------	-------

決 算 額 (円)		808,831,731	〔総括〕 令和6年度においては主に歳入不足などの要因から、約3億円の一般会計からの繰出しを行った。 今後は、収納率の向上や医療費適正化の取り組みを進め、国保税率の急激な上昇とならないように配慮しつつ、赤字解消計画に基づき、一般会計からの繰出金を段階的に解消していくよう努める。
財 源 内 訳	国庫支出金	62,533,573	
	県支出金	180,466,167	
	地 方 債	0	
	そ の 他	80,999,916	
一般財源		0	

〔実績及び成果〕

国民健康保険特別会計繰出金の内訳

法定分		法定外分	
保険基盤安定繰出金 保険税軽減分	198,932,510円	福祉医療費波及影響分	27,113,562円
保険基盤安定繰出金 保険者支援分	121,168,166円	条例等減免分	5,898,447円
職員給与費等繰出金	117,869,936円	保険税引上緩和分	120,000,000円
出産育児一時金繰出金 (2/3)	10,013,130円	前年度繰越金充当分	50,000,000円
財政安定化支援事業繰出金	20,710,000円	歳入欠かん補填収入分	40,728,000円
未就学児均等割保険税繰出金	3,297,654円	保険税の補正分(低所得者軽減分を除く)	11,000,000円
産前産後保険税繰出金	601,326円	赤字補填分	81,499,000円
472,592,722円		336,239,009円	
合 計		808,831,731円	

国民健康保険特別会計

款・項	1-2	事務事業	12-0502 国民健康保険税賦課事業	担当課等名	保険医療課
-----	-----	------	---------------------	-------	-------

決 算 額 (円)		21,368,341
財 源 内 訳	国庫支出金	0
	県支出金	0
	地 方 債	0
	そ の 他	21,368,341
	一般財源	0

【総括】

段階的に税率を上げてきたが、被用者保険の適用拡大や後期高齢者医療制度へ移行する人の増加により被保険者数は年々減少しており、令和5年度決算においては繰上充用も行ったため、若干の増収ではあったものの赤字解消までは至っていない。また、令和6年度においては、約3億円の一般会計からの法定外繰入を行った。
 今後は赤字を解消するために、更なる歳入確保に向けて収納課との連携を密にした収納率向上に努めるとともに、標準保険料率を踏まえた保険税の見直しが必要である。

【実績及び成果】

1 保険税徴収事務負担金

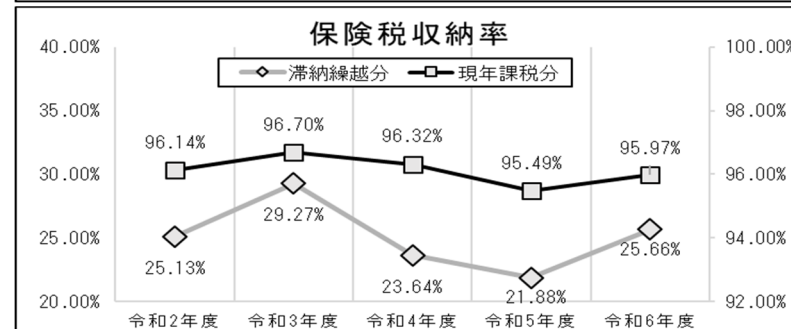
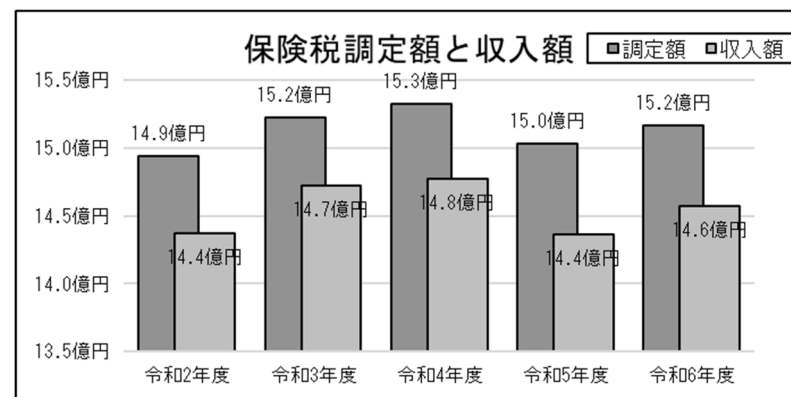
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
保険税徴収業務負担金	5,344,237円	5,305,247円	5,880,638円

2 保険税調定額と収入額

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
現年課税分	調定額	1,532,793,800円	1,503,180,800円	1,516,654,000円
	収入額	1,477,092,765円	1,436,062,211円	1,456,867,221円
滞納繰越分	調定額	168,443,893円	177,255,623円	182,861,459円
	収入額	39,868,421円	38,818,958円	46,935,801円
新型コロナ 減免	件数	12件	—	—
	金額	2,127,600円	—	—

3 保険税収納率

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
現年課税分	96.32%	95.49%	95.97%
滞納繰越分	23.64%	21.88%	25.66%



国民健康保険特別会計

款-項	2	事務事業	12-0505 国民健康保険保険給付事業	担当課等名	保険医療課
-----	---	------	----------------------	-------	-------

決 算 額 (円)	4,636,933,566
財 源 内 訳	
国庫支出金	0
県支出金	4,618,708,411
地 方 債	0
そ の 他	15,019,695
一般財源	3,205,460

〔総括〕

国民健康保険の被保険者に疾病、負傷、出産、又は死亡に関して必要な給付を行った。

団塊の世代の後期高齢者制度への移行や被用者保険の適用拡大などにより被保険者数は減少している。一人当たり給付費は新型コロナウイルス感染症の影響などにより、令和5年度まで高い伸び率を示していたが、令和6年度はようやく落ち着きを取り戻し、減少に転じた。

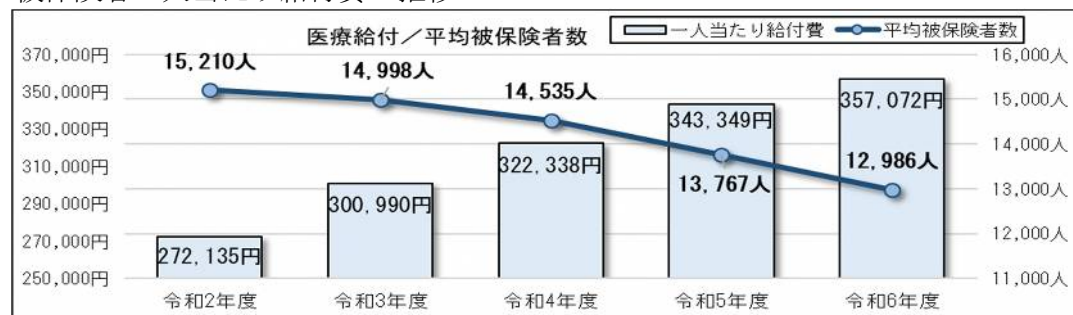
今後も引き続き、国民健康保険団体連合会にレセプト点検業務を委託して医療費の適正化に努めるとともに、保健事業を適切に実施し、医療費の抑制を図る。

〔実績及び成果〕

1 保険給付費 4,636,933,566円

	令和5年度		令和6年度	
	件数	支出金額	件数	支出金額
医療給付	267,448件	4,699,404,068円	253,873件	4,606,354,005円
出産育児一時金	20件	9,908,000円	25件	15,019,695円
葬祭費給付	89件	4,450,000円	64件	3,200,000円
傷病手当金	6件	176,118円	—	—
審査支払手数料等	267,542件	12,948,783円	255,348件	12,359,866円
平均被保険者数	13,767人		12,986人	

2 被保険者一人当たり給付費の推移



国民健康保険特別会計

款-項	4-1	事務事業	12-0511 特定健康診査・特定保健指導事業	担当課等名	保険医療課
-----	-----	------	-------------------------	-------	-------

決 算 額 (円)		65,997,974
財 源 内 訳	国庫支出金	0
	県支出金	25,799,000
	地 方 債	0
	そ の 他	0
	一般財源	40,198,974

〔総括〕

特定健康診査では、年代別で比較的受診率が高かった団塊の世代が令和4年度中に後期高齢者医療に移行したため、これまで増加傾向にあった受診率が令和5年度は一時的に減少に転じたが、受診勧奨業務を外部委託（ソーシャルマーケティング手法や行動心理学等の理論を活用して効果的に受診率を向上させるための業務）したことにより、受診率が再び増加した。また、特定保健指導も特定健康診査の受診率向上に伴い健康意識の高い対象者が増加したため、令和6年度においては終了率が増加に転じた。

今後も被保険者の健康寿命の延伸のため、これまで以上に丁寧な受診勧奨と保健指導を積み重ね、受診率及び終了率の向上を目指す。

〔実績及び成果〕

1 特定健康診査

特定健康診査委託料 54,857,398円

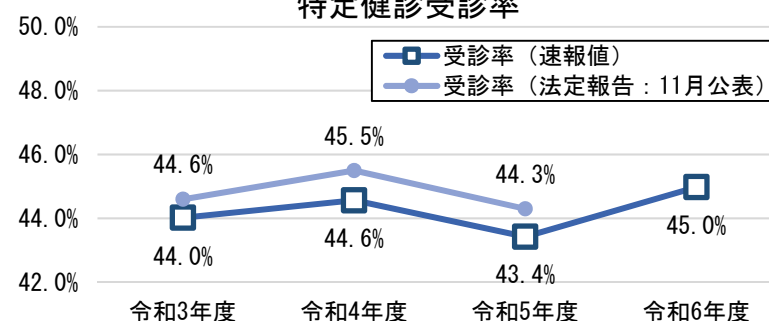
特定健康診査	令和5年度	令和6年度
当該年度末時点被保険者数	10,848人	10,253人
特定健診受診者数	4,711人	4,612人

2 特定保健指導

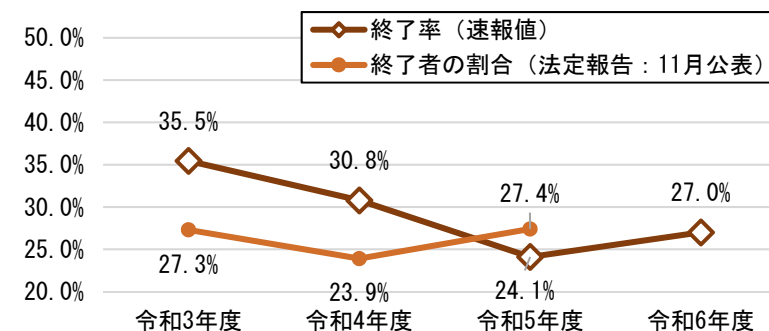
特定保健指導委託料 586,470円

特定保健指導	令和5年度	令和6年度
動機付け支援対象者数	332人	363人
動機付け支援実施者数	177人	108人
動機付け支援終了者数	80人	98人
積極的支援対象者数	90人	113人
積極的支援実施者数	6人	5人

特定健診受診率



特定保健指導終了率



一般会計

款-項目	3-2-8	事務事業	23-0912 こども子育て施設整備事業	担当課等名	こども未来課
			01-0304 こども子育て施設整備事業（繰越明許費）		

決 算 額（円）		71,742,000	【総括】 こども子育て支援施設の環境を整備するため、空調設備をはじめとした施設改修を行った。 また、本地ヶ原保育園増築に向けた基本設計業務を行った。 今後も、こども子育て支援施設の劣化状態等を把握しながら、計画的に改修を実施することにより、園児、児童、保護者及び職員などが安心して活動できる安全な環境の整備を図る。
財 源 内 訳	国庫支出金	1,980,000	
	県支出金	4,038,000	
	地 方 債	25,300,000	
	そ の 他	0	
	一般財源	40,424,000	

【実績及び成果】

- 1 本地ヶ原保育園増築工事設計委託（3,993,000円）
- 2 保育園廊下床改修工事（3,301,100円）
東部保育園、中部保育園、あたご保育園
- 3 中部保育園遊戯室床改修工事（5,335,000円）
- 4 保育園調理室食洗機設置工事（6,677,000円）
中部保育園、藤池保育園、あたご保育園、柏井保育園
- 5 児童館空調設備改修工事（20,874,700円）
藤池児童館（事務室）、三郷児童館（図書室、集会室、工作室、事務室）
中部児童館（集会室、工作室）、旭丘児童館（図書室、集会室、工作室）
- 6 平子児童館外壁改修工事（7,361,200円）
- 7 旭児童クラブ移設工事（5,940,000円）



遊戯室床改修工事



保育園調理室食洗機設置工事

一般会計

款-項目	3-2-2	事務事業	21-0206 特定教育・保育実施事業	担当課等名	保育課
------	-------	------	---------------------	-------	-----

決 算 額 (円)		751,326,070	【総括】 子ども・子育て支援法に基づき、教育・保育施設に通園する児童の利用状況に応じた費用の給付を行った。 また、市内の民間保育所等が行う事業に対して、補助金の交付や業務委託を行ったほか、物価高騰の影響を受ける事業者への支援を実施した。 今後も、幼児教育・保育の円滑な運用を行うとともに、民間保育所等と連携した取組を進める。
財 源 内 訳	国庫支出金	343,109,866	
	県支出金	157,634,609	
	地 方 債	0	
	そ の 他	41,423,210	
一般財源		209,158,385	

【実績及び成果】

- 市内の民間保育所に保育を委託するとともに、小規模保育所や認定こども園、新制度幼稚園に対し給付費を負担した。
 - ・民間保育所等保育委託料 329,758,170円（私立3園、広域利用1園）
 - ・施設型給付費等負担金 348,355,330円（小規模6園（うち新設1園）、認定こども園4園、新制度幼稚園8園、事業所内保育所1園）
- 民間保育所等の運営や事業に対して補助金を交付したほか、病児・病後児保育や一時預かり事業を委託した。
 - ・民間保育所運営費補助金 23,725,000円（私立3園、小規模3園）
 - ・特別保育事業費等補助金 28,173,000円（私立3園、小規模2園）
 - ・病児・病後児保育委託料 7,894,000円（医療機関1施設）
 - ・一時預かり事業実施委託料 362,070円（認定こども園1園、新制度幼稚園2園）
- 保育体制強化に要する経費を補助したほか、物価高騰の影響を受けつつ給食を提供する事業者に対し支援金を交付した。
 - ・保育対策総合支援事業費補助金 5,100,000円（私立2園、小規模1園）
 - ・保育所等給食費軽減対策支援金 7,958,500円（私立3園、小規模6園、指定管理4園）

一般会計

款-項目	3-2-7	事務事業	23-0304 放課後児童健全育成事業	担当課等名	こども課
------	-------	------	---------------------	-------	------

決 算 額 （円）		209,783,856
財 源 内 訳	国庫支出金	46,855,000
	県支出金	46,855,000
	地 方 債	0
	そ の 他	13,865,000
	一般財源	102,208,856

〔総括〕

令和6年度は、公立児童クラブ（公設公営6か所10クラブと公設民営3か所3クラブ）の運営及び民間学童クラブ（7か所10クラブ）への事業委託を継続し、市内全ての小学校区において放課後児童の健全育成を推進した。

また、瑞鳳小学区での民間学童クラブの新設や公立旭児童クラブ移設工事（23-0912こども子育て施設整備事業：こども未来課）による定員拡充により、待機児童対策と市民サービスの向上を図ることができた。

今後、待機児童が生じている小学校区の対応について、利用ニーズの動向把握等に努め、適正な定員数の確保等について対策を講じる。

〔実績及び成果〕

- 1 公設民営の三郷児童クラブと民間学童クラブにおいて、常勤職員配置の改善等にも対応した事業委託を実施した。

公設民営三郷児童クラブ	22,634,000円
民間学童クラブ7か所10クラブ	118,302,227円
合 計	140,936,227円

- 2 公設民営の瑞鳳児童クラブ及び渋川児童クラブにおいて、指定管理による民間運営を実施した。

	32,680,000円
--	-------------

- 3 民間運営の放課後児童クラブで働く職員の処遇を改善するための補助金を交付した。
 - (1) 放課後児童支援員等処遇改善等事業補助金

民間学童クラブ7か所10クラブ	17,379,322円
-----------------	-------------
 - (2) 放課後児童支援員等処遇改善事業補助金（月額9,000円相当賃金改善）

民間学童クラブ7か所10クラブ及び公設民営3か所3クラブ	4,954,400円
合 計	22,333,722円

- 4 瑞鳳小学校校区において、新たな民間学童クラブ「ずいほう学童クラブ」（定員40名）の開設に係る経費に対する補助金を交付した。

	7,317,000円
--	------------

一般会計

款-項目	3-2-1	事務事業	23-0702 要保護児童対策推進事業	担当課等名	子育て相談課（こども家庭課）
------	-------	------	---------------------	-------	----------------

決 算 額（円）		3,675,795	【総括】 子どもを養育者の虐待から解放し、児童相談所をはじめとした関係機関等と連携して早期からの見守りや支援を実施し、子どもの安全安心の確保に努めた。 また、市内の関係機関に対してヤングケアラー実態調査を行い、その認知度やヤングケアラーと思われる子どもの人数等を把握することができた。 今後は、児童虐待防止についての周知・啓発に努めるとともに、ヤングケアラー実態調査を踏まえた支援体制の整備を図る。
財 源 内 訳	国庫支出金	1,484,000	
	県支出金	615,000	
	地 方 債	0	
	そ の 他	0	
一般財源		1,576,795	

【実績及び成果】

1 虐待通告等の実績

	通告件数	うち市への通告	うち児童相談所から市への送致
令和5年度	17件	14件	3件
令和6年度	25件	17件	8件

2 子育て世帯等訪問支援の実績

	すくすく赤ちゃん訪問事業	子育て世帯訪問支援事業 ※
令和5年度	539人	99回
令和6年度	513人	57回

※ 令和5年度までは養育支援訪問事業として実施

3 ヤングケアラー実態調査の実施（委託料：935,000円）

- ・学校等16機関、団体等58団体、民生委員・児童委員130人を対象に言葉の認知度やヤングケアラーと思われる子どもの有無等について、アンケート調査を実施
- ・アンケート調査でヤングケアラーの支援実績があると回答した関係機関を対象に、支援のために必要なことや関係機関との連携について等の詳細なヒアリング調査を実施

一般会計

款-項目	8-1-2	事務事業	41-0102 民間木造住宅等耐震改修促進事業	担当課等名	都市計画課
------	-------	------	-------------------------	-------	-------

決 算 額 (円)		9,220,796	【総括】 民間木造住宅の耐震診断を実施し、耐震性を確認するとともに、耐震改修費補助を実施した。 また、市役所ロビーにて耐震シェルターの実物を展示し、市民の目に触れる機会を設けることにより、耐震化・減災化の重要性を啓発した。 今後も、継続的に耐震化率向上に向けた耐震補助を実施し、耐震化・減災化に関する啓発を行う。
財 源 内 訳	国庫支出金	4,696,000	
	県支出金	2,194,000	
	地 方 債	0	
	そ の 他	0	
一般財源		2,330,796	

【実績及び成果】

昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅建物所有者に対し、耐震改修に関する事業を実施した。

実施内容	令和5年度	令和6年度
無料耐震診断	25件 1,180,000円 (1件当たり47,200円)	45件 2,124,000円 (1件当たり47,200円)
耐震改修費補助	3件 3,000,000円 (1件当たり上限100万円)	3件 3,000,000円 (1件当たり上限100万円)
シェルター整備費補助	0件 (1件当たり上限30万円)	4件 1,200,000円 (1件当たり上限30万円)
除却工事費補助	5件 1,000,000円 (1件当たり上限20万円)	11件 2,200,000円 (1件当たり上限20万円)
ブロック塀等撤去工事費補助	8件 524,000円 (1件当たり上限10万円)	8件 260,000円 (1件当たり上限10万円)
啓発パンフレット送付	1,134件 (庄中町、庄南町を中心に配布)	979件 (東栄町、東大久手町を中心に配布)



耐震シェルター実物展示
(市役所ロビー)

一般会計

款・項目	8-4-1	事務事業	41-0101 都市計画検討・策定事務	担当課等名	都市計画課
------	-------	------	---------------------	-------	-------

決 算 額 (円)		15,810,550	【総括】 令和6年度は、都市計画審議会を令和6年8月、令和7年3月に開催し、名古屋都市計画生産緑地地区の変更に係る審議や第3次尾張旭市都市計画マスタープランの策定状況の報告を行った。 第3次尾張旭市都市計画マスタープランの策定を進めるため、市民ワークショップ（4回）を開催するとともに、学識経験者等を構成員とする尾張旭市都市計画マスタープラン策定検討会議（2回）を開催し、全体構想等に係る検討を行った。 今後は、引き続き全体構想の検討や地域別構想等の検討を行い、令和7年度末の策定完了に向けて事務を進める。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	0	
	そ の 他	221,200	
	一般財源	15,589,350	

【実績及び成果】

- 1 都市計画審議会を開催した。
 - ・審議会委員報酬（147,200円）
 - (1) 令和6年8月
報告事項「第3次尾張旭市都市計画マスタープランの策定状況について」
 - (2) 令和7年3月
審議事項「名古屋都市計画生産緑地地区の変更」
報告事項「第3次尾張旭市都市計画マスタープランの策定状況について」
- 2 第3次尾張旭市都市計画マスタープランの策定検討を進めた。
 - ・尾張旭市都市計画マスタープラン策定支援業務委託料（9,735,000円）
 - ・検討会議構成員謝礼（108,800円）
 - ・市民ワークショップの開催（計4回、令和6年7月～11月）
 - ・尾張旭市都市計画マスタープラン策定検討会議（令和6年8月、令和7年2月）
 - ・全体構想の検討
- 3 都市計画基礎調査業務を実施した。
 - ・都市計画法第6条に基づく都市計画に関する基礎調査業務委託料（5,390,000円）
 - ・開発状況の調査等

一般会計

款-項目	8-4-5	事務事業	42-0101 公共交通網整備事業	担当課等名	都市計画課
			01-0809 公共交通網整備事業（繰越明許費）		

決算額（円）		118,505,068
財 源 内 訳	国庫支出金	1,599,400
	県支出金	0
	地方債	47,200,000
	その他	1,874,600
	一般財源	67,831,068

【総括】

令和6年度は、市営バス「あさび一号」の安全安心な運行を確保するため、老朽化したバス車両4台の更新を実施した。また、利用者の利便性及びニーズに応じたサービス水準の向上を図るため、市営バスの運行見直しに係る試験運行の実施やバスロケーションシステムを導入した。

今後も、利用実態を踏まえた市営バスの運行見直し、年末年始試験運行やデマンド交通実証実験の実施、老朽化したバス車両の更新等により、既存の公共交通網の整備・拡充に向けた取組を進める。

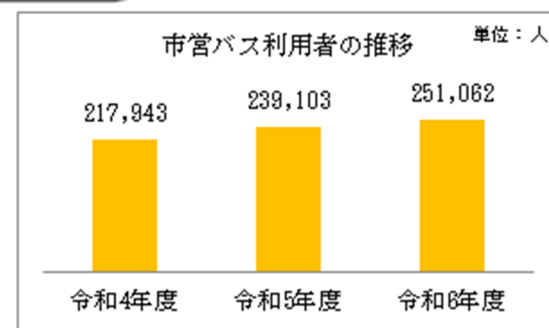
【実績及び成果】

- 市営バスあさび一号を適切に運行した。（運行管理に指定管理者制度を活用）
 - 指定管理者：豊栄交通株式会社
 - 指定期間：令和5年度～令和9年度（2年目）
 - 指定管理料：56,342,293円（令和6年度）
 - 年間利用者：251,062人（前年比5.0%増）
 - 指定管理者に対し、燃料費等高騰対策補助金を交付（999,000円）
 - バス車両4台の更新を実施
（R6契約分1台 13,352,850円、R5契約分（繰越明許費）3台 39,477,620円）
- 市営バスあさび一号の運行見直しとして、印場駅・愛知医大間の試験運行及び年末試験運行を実施した。
 - 印場駅・愛知医大間の試験運行
実施日：令和6年9月2日から実施中
利用者：939人（令和6年9月2日～令和7年3月31日）
 - 年末試験運行
実施日：12月29日～12月31日 利用者：751人（土日祝運行時の7割程度の利用）
- 市営バスの運行状況や混雑情報がリアルタイムで分かるバスロケーションシステムを導入した。
 - 導入委託料：3,198,800円



市営バスあさび一号

バスロケーションシステム



一般会計

款・項目	8-2-3	事務事業	41-0106 雨水排水整備事業	担当課等名	都市整備課
	8-2-4		01-0804 雨水排水整備事業（繰越明許費）		

決 算 額（円）		99,573,100	【総括】 雨水に対する安全度を向上させることを目的として、過去に浸水実績のある地区を中心に雨水管渠等の整備を計画的に実施している。 令和6年度は、南原山地区（三郷北山2号線）及び平子地区（平子城前2号線）の側溝工事を実施し、同地区の雨水排水整備が完了した。 今後も、他地区において整備を進め、安全・安心な街づくりを推進する。
財 源 内 訳	国庫支出金	16,500,000	
	県支出金	0	
	地 方 債	55,000,000	
	そ の 他	0	
一般財源		28,073,100	

【実績及び成果】

1 実施内容

- (1) 平子地区の雨水排水整備に係る設計を行い、側溝を整備した。
 - ・幅0.7m×高さ0.7mの側溝を121m整備した。（52,714,200円）
- (2) 南原山地区の側溝を整備した。
 - ・令和5年度からの繰越事業（34,131,900円）
 - 幅0.25m×高さ0.25mの側溝を454m整備した。
- (3) 雨水施設整備検討業務において、雨水整備計画を策定した。
 - ・令和5年度からの繰越事業（12,727,000円）

2 成果

側溝を整備したことで、雨水を効率的に排水できるようになり、雨水に対する安全度が向上した。

3 事業進捗

令和4年度	南原山地区の雨水管渠整備（令和5年度に繰越）
令和5年度	南原山地区の雨水管渠整備、平子地区の整備検討
令和6年度	南原山地区の側溝整備（完了）
	平子地区の設計及び側溝整備（完了）



一般会計

款-項目	8-2-3	事務事業	41-0108 北山地区まちづくり支援事業	担当課等名	都市整備課
------	-------	------	-----------------------	-------	-------

決 算 額 (円)		10,111,178
財 源 内 訳	国庫支出金	5,036,000
	県支出金	0
	地 方 債	0
	そ の 他	0
	一般財源	5,075,178

〔総括〕

街づくり推進団体が主体となり、狭あい道路（市が管理する幅員4.0m未満の道路）を路線単位（交差点から交差点までの区間）で拡幅する事業を進めている。

令和6年度は、モデル路線である北山13号線の拡幅整備を一部実施するとともに、新たに事業への同意があった地権者の箇所について測量等を実施した。

今後は、北山13号線の工事を進めるとともに、他路線の整備に向けて街づくり推進団体と調整等を図る。

〔実績及び成果〕

1 実施内容

- (1) 測量等委託料（1,942,600円）
北山13号線の境界確定測量等を実施した。
- (2) 道路拡幅整備工事（8,111,400円）
拡幅用地を活用し、側溝を134m整備した。

2 成果

北山13号線の拡幅整備を実施し、全体整備延長240mの内、134mの道路拡幅が完了した。

3 事業進捗

- | | |
|-------|----------------------------------|
| 令和4年度 | 北山13号線を拡幅対象路線として認定、現況測量等 |
| 令和5年度 | 北山13号線の確定測量、支障物件等の移転・撤去、土地の寄附手続き |
| 令和6年度 | 北山13号線の確定測量、拡幅整備工事 |
| 令和7年度 | 北山13号線の拡幅整備工事 |



一般会計

款-項目	8-2-3	事務事業	42-0312 道路整備・改良事業	担当課等名	都市整備課
------	-------	------	-------------------	-------	-------

決 算 額 (円)		50,657,200
財 源 内 訳	国庫支出金	0
	県支出金	21,913,000
	地 方 債	25,800,000
	そ の 他	0
	一般財源	2,944,200

〔総括〕

巡検道線の渋滞を避けるための通過車両が増加している南栄6号線について、通学で利用する歩行者や自転車利用者の安全の確保と本市南部の道路ネットワーク構築を目的として、南栄町交差点から南栄3号線と交差する地点までの約300mの道路拡幅整備を令和元年度から実施している。

令和6年度は相互通行を可能とするための道路整備を実施し、事業が完了した。
今後も、他路線において事業を進め、安全・安心な街づくりを推進する。

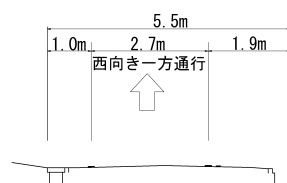
〔実績及び成果〕

- 実施内容
道路整備工事 (50,657,200円)
道路側溝を199m、舗装を1,326㎡、防護柵を208m整備した。
- 成果
 - 南栄6号線を拡幅し、相互通行が可能となったことにより、巡検道線の渋滞緩和に寄与した。
 - 歩道や路肩を整備したことにより、歩行者や自転車利用者の安全性が向上した。
- 事業進捗

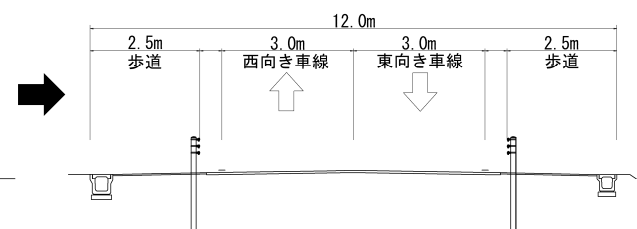
令和元年度	道路予備設計
令和2年度	用地測量・不動産鑑定
令和3年度	用地購入
令和4年度	道路詳細設計・用地購入・整備工事
令和5年度	用地購入・整備工事
令和6年度	整備工事 (完了)



南栄町交差点



整備前断面図



整備後断面図

一般会計

款-項目	8-4-2	事務事業	41-0107 北原山土地区画整理事業	担当課等名	都市整備課
			01-0805 北原山土地区画整理事業（繰越明許費）		

決 算 額（円）		709,558,000	〔総括〕 北原山町を中心とした土地区画整理事業を推進する尾張旭北原山土地区画整理組合に対して、補助金等を交付した。 令和6年度は、都市計画道路、区画道路の整備及び物件移転を行い、事業を進めることができた。 今後も、都市計画道路の早期整備を重点目標として、引き続き組合事業を支援する。
財 源 内 訳	国庫支出金	192,423,000	
	県支出金	0	
	地 方 債	195,900,000	
	そ の 他	0	
	一般財源	321,235,000	

〔実績及び成果〕

1 実施内容

尾張旭北原山土地区画整理組合の支援として、道路築造、物件移転等を対象とした補助金等を交付した。

- ・ 北原山土地区画整理補助事業負担金 9,968,000円
- ・ 北原山土地区画整理組合補助金 629,124,000円
- ・ 北原山土地区画整理組合補助金（繰越） 50,466,000円
- ・ 北原山土地区画整理組合交付金 20,000,000円

2 成果

- (1) 都市計画道路、区画道路の整備及び物件移転を行い事業を進めることができた。

- ・ 物件移転 30件
- ・ 都市計画道路築造 176m
- ・ 区画道路築造 460m
- ・ 一般保留地の販売 7筆（1,141.24㎡）

- (2) 令和6年度末事業進捗率（事業費ベース）は、約86%となり、対前年比で3ポイント増加した。



新しい街並み（北原山町地内）

一般会計

款-項目	8-4-6	事務事業	41-0202 三郷駅周辺まちづくり事業	担当課等名	三郷駅周辺整備推進室
			01-0810 三郷駅周辺まちづくり事業（繰越明許費）		

決算額（円）	169,276,000
財源内訳	
国庫支出金	79,400,000
県支出金	34,950,000
地方債	31,400,000
その他	0
一般財源	23,526,000

【総括】

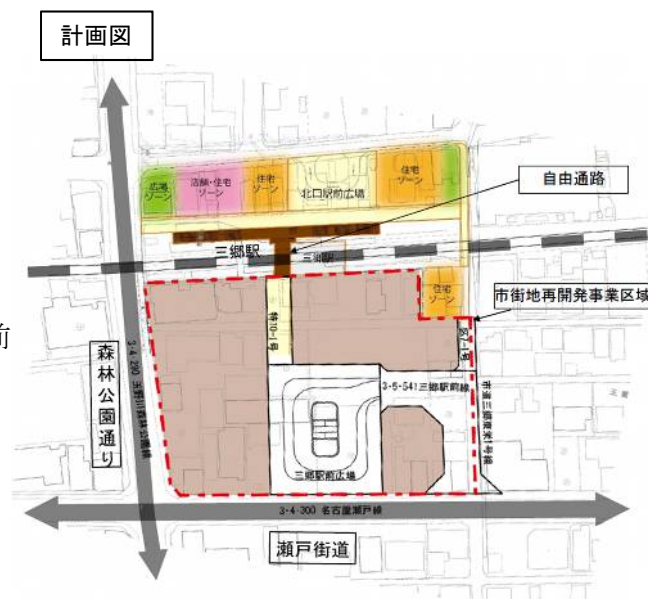
三郷駅前地区市街地再開発組合が実施する権利変換計画策定に向け、必要となる調査設計業務に対して補助金を交付した。

また、市街地再開発事業で整備する公共施設の内装設計検討、同事業に関連する三郷駅前まち育てプロジェクトの活動支援、都市計画道路等の土木予備設計を実施した。

今後も、三郷駅前地区の市街地再開発事業を推進するため、組合を支援するとともに、関連するまちづくり事業の推進を図る。

【実績及び成果】

- 市街地再開発組合に対し、補助金等を交付した。
 - 組合が実施する調査設計業務に対して市街地再開発事業補助金を交付した。（事業費186,000,000円のうち令和6年度への繰越し分139,800,000円）
 - ・権利変換計画作成業務
 - ・建築実施設計業務
 - 市街地再開発事業に係る公共施設の調査設計業務に対して公共施設管理者負担金を交付した。（9,533,000円）
 - ・三郷駅前広場を含む三郷駅前線、特10-1号道路（歩行者専用道路）及びデッキ等の修正設計を実施した。
- 組合による市街地再開発事業に合わせて、公共施設の内装設計検討及び三郷駅前まち育てプロジェクト活動の支援を実施した。
 - 公共施設の内装設計検討を実施した。（10,450,000円）
 - 愛知県立芸術大学に委託し、三郷駅前まち育てプロジェクト活動を支援した。（9,493,000円）
 - ・ワークショップ：延べ133名の市民が参加
 - ・社会実験：準備から運営まで延べ46名の市民が参加し、約1,000名が来場
 - ・フォーラム：市民を交えたパネルディスカッション等の様子を収録、動画配信
約70名の市民が参加



一般会計

款・項目	6-2-1	事務事業	43-0902 全国植樹祭理念継承事業	担当課等名	公園農政課
------	-------	------	---------------------	-------	-------

決 算 額 (円)		3,100,928	【総括】 第70回全国植樹祭（令和元年6月2日（日）開催）の開催理念である「木に託す もり・まち・人の あす・未来」を継承することを目的とした取組を実施した。 また、令和6年度は、第70回全国植樹祭の5周年を記念して、「全国植樹祭5周年記念イベント及び愛知県植樹祭」を実施した。 今後も、市民の緑化意識やまちへの愛着を一層高めていけるよう、みどりの少年団の活動支援等の事業推進を図る。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	0	
	そ の 他	0	
	一般財源	3,100,928	

【実績及び成果】

- 1 全国植樹祭5周年記念イベント及び愛知県植樹祭の開催（1,101,940円）
令和6年5月18日（土）に愛知県森林公園及び尾張旭市文化会館で開催した。
森林公園ではステージイベントや植樹を実施し、文化会館ではアトラクションや表彰等を実施した（参加者7,611人）。
- 2 樹木伐倒加工業務の実施（1,430,000円）
旭小学校の古く大きくなった樹木を伐倒し、その伐倒木から防犯笛を作成し、旭小学校の全児童へ配布した。
- 3 全国植樹祭理念継承イベントの開催（193,600円）
市民祭において丸太切り大会を実施し、参加者に記念品を配布した（木製ボールペン、木製玩具、木製バッチ）
- 4 森林公園清掃活動「グリーンリレー」の実施（163,588円）
全国植樹祭の植樹会場である森林公園の清掃活動を実施し、参加者には記念品（森林公園年間パスポート、バードコール）を配布した（参加者71人）。
- 5 花咲くまちづくり助成金（151,800円）
自宅及び事業所の敷地内で人が鑑賞できる場所に花苗等を植えた人に対し、助成金を交付した（対象者57人）。
- 6 苗木配布（60,000円）
令和6年11月17日（日）に開催した農業まつりで、250本の苗木（すだち）を配布した。



丸太切り大会の様子



木製防犯笛

一般会計

款-項目	8-4-3	事務事業	01-0808 街区公園改良事業（繰越明許費）	担当課等名	公園農政課
------	-------	------	-------------------------	-------	-------

決 算 額（円）		54,872,400	〔総括〕 昭和40年代の整備から50年近くが経過し、老朽化している旭台第1号公園のバリアフリー改修や遊具整備等の改良工事を行った。 今後も、設置年数を考慮して順に公園改良に取り組み、さらに愛着の持てる公園づくりに努めていく。
財 源 内 訳	国庫支出金	19,800,000	
	県支出金	0	
	地 方 債	24,500,000	
	そ の 他	0	
一般財源		10,572,400	

〔実績及び成果〕

- 令和4年度に実施した住民ワークショップの結果を踏まえ、改良工事をした。（改良工事は令和5年度からの繰越事業）
- 改良工事内容
東屋の設置、園路整備、シンボルツリー植樹、駐輪場整備、築山造成、バスケットゴール設置、トイレの更新、フェンス更新など
- 休憩施設や遊具などを更新するとともに、新たにオープンな雰囲気の歩きやすい歩行空間を備えた公園に改良した。

<東屋>



<園路>



<バスケットゴール>



<トイレ>



改良後の旭台第1号公園

一般会計

款-項目	8-4-3	事務事業	43-0201 公園維持管理事業	担当課等名	公園農政課
			01-0807 公園維持管理事業（繰越明許費）		

決 算 額（円）		146,177,761	【総括】 公園やちびっ子広場等を快適でより安全に利用してもらえるように、施設の更新・改修、遊具の点検、樹木等の剪定等を計画的に行った。 特に今年度は、劣化により補修が必要なベンチを重点的に更新した。 また、公園に愛着を持ってもらうとともに、公園施設の充実を図り、多くの方に支えられた親しみやすい公園を目指すため、ベンチ寄附事業（ひまわりベンチ事業）を開始した。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	0	
	そ の 他	2,740,452	
一般財源		143,437,309	

【実績及び成果】

- 劣化により補修が必要な木製ベンチ77基を、より安全で耐久性のある再生木材製に仕様を変更し設置した。
(24,860,000円)
 - ベンチ寄附事業（ひまわりベンチ事業）
 - ベンチの種類 背付きタイプ275,000円 背無しタイプ213,000円
 - 設置したベンチに寄附者の名前とメッセージを記したプレートを取り付ける。
 - 市内2業者から寄附の申し出があり、矢田川河川緑地、長池上公園、五反田公園、南島公園、柏井北公園の5箇所にベンチを5基設置した。
- （※寄附金は、日本公園施設業協会に寄附者が直接振り込み、設置も同協会が行うため、本市での予算措置はなし。）

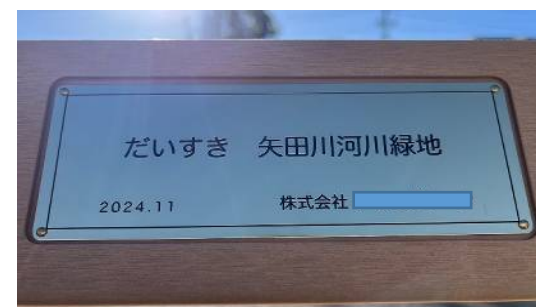
<更新したベンチ>



<寄附により設置したベンチ>



<ベンチに取り付けたプレート>



一般会計

款-項目	9-1-1	事務事業	53-0906 名古屋市等共同指令センター準備事務	担当課等名	消防総務課
------	-------	------	---------------------------	-------	-------

決 算 額 (円)		102,710,836
財 源 内 訳	国庫支出金	0
	県支出金	0
	地 方 債	102,700,000
	そ の 他	0
	一般財源	10,836

〔総括〕

名古屋市他7消防本部と通信指令業務及び消防救急デジタル無線の共同運用を開始するため、システム整備工事（指令センター）及び実施設計業務（消防救急デジタル無線）を実施した。今後も整備工事を進めていく。

〔実績及び成果〕

1 実施状況

(1) 指令センター

区分	令和5年度	令和6年度
事業内容	整備工事	整備工事
事業費 (単年度費用)	3,060,254,052 円	5,042,591,000 円
本市負担額	62,445,953 円	101,097,517 円

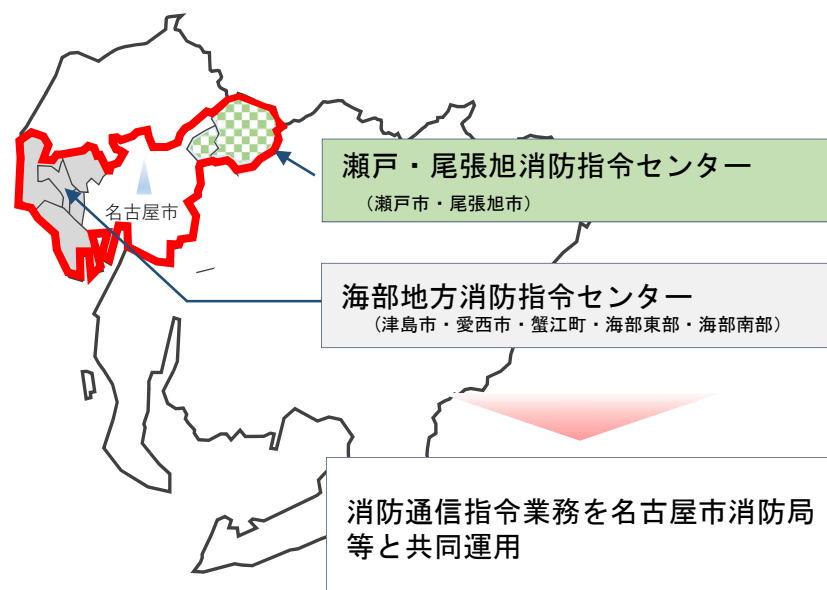
(2) 消防救急デジタル無線

区分	令和5年度	令和6年度
事業内容	基本調査業務	実施設計業務
事業費 (単年度費用)	16,170,000 円	39,600,000 円
本市負担額	658,772 円	1,613,319 円

※負担額は、通信指令業務を共同運用する構成市町で按分

2 今後のスケジュール

令和7年度：指令センター運用開始、消防救急デジタル無線工事
 令和8年度：消防救急デジタル無線工事
 令和9年度：消防救急デジタル無線工事
 令和10年度：消防救急デジタル無線工事
 令和11年度：消防救急デジタル無線運用開始



一般会計

款-項目	9-1-3	事務事業	01-0902 消防車両購入事業（繰越明許費）	担当課等名	消防総務課
------	-------	------	-------------------------	-------	-------

決 算 額（円）		102,830,809	〔総括〕 令和6年度は、救急車両1台と消防車両3台の更新を実施した。（令和5年度繰越明許） 救急救命士が傷病者に対し処置を行い医療機関に搬送する救急車、火災等の災害対応を行う消防ポンプ自動車、多くの資機材を搬送する資機材搬送車、緊急走行による広報や人員の運搬が可能な輸送車を更新し、災害対応体制の強化を図った。 今後も消防車両更新計画に基づき更新を行い、消防力の充実を図る。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	63,200,000	
	そ の 他	0	
	一般財源	39,630,809	

〔実績及び成果〕

- 運用開始から13年が経過した救急車を更新した。（31,552,856円）
更新日：令和7年3月31日
電動ストレッチャーを搭載することで、患者や救急隊員の負担を軽減できる車両とし、自動格納式ステップも装備させることで、患者の家族が救急車を乗り降りする負担を軽減できる車両を導入した。
- 運用開始から18年が経過した消防ポンプ自動車を更新した。（47,406,062円）
更新日：令和7年3月31日
小型で水（1,200L）を積載することが可能な車両仕様とすることで機動性を向上させ各種災害への対応力を高めることができる車両を導入した。
- 運用開始から18年が経過した資機材搬送車を更新した。（17,929,690円）
更新日：令和7年3月31日
緊急消防援助隊登録車両として、荷室のボックス化及び荷室横の出入り口の追加、さらに荷室内に照明やコンセント等の設備を追加することで機能強化を実現し、後方支援隊として対応力を高めることができる車両を導入した。
- 運用開始から19年が経過した輸送車を更新した。（5,942,201円）
更新日：令和7年3月31日
多くの人員を輸送できるよう10人乗りとするとともに、安全装置を充実させ安全性能を高めた車両を導入した。



救急車



消防ポンプ自動車



資機材搬送車



輸送車

一般会計

款・項目	10-3-2	事務事業	31-0902 中学生海外研修・交流事業	担当課等名	教育政策課
------	--------	------	----------------------	-------	-------

決 算 額 (円)		6,989,379	【総括】 新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度から中止していた中学生海外研修事業を5年ぶりに再開した。 研修は、無事に終わることができたが、5年ぶりの実施により、生徒への身体的負担、生徒を取り巻く環境、研修先であるオーストラリアの社会事情などの課題が、改めて確認されたことから、より安全安心かつ充実した研修の実現のため、「毎年実施」を「隔年実施」へと変更し、令和8年度の実施に向け、事業内容の発展的な見直しを進めていくこととした。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	0	
	そ の 他	0	
一般財源		6,989,379	

【実績及び成果】

- 1 目的
ホームステイや現地校への体験入学などを通し、幅広い視野と国際感覚を育むことを目的に、中学生海外研修事業を実施した。
- 2 対象者
英語教育の充実などを踏まえ、対象者をこれまでの3年生から全学年とした。
- 3 応募者
112人（3年生 36人、2年生 41人、1年生 35人）
- 4 参加者
研修生 12人（3年生 4人、2年生 7人、1年生 1人）及び引率者 2人
- 5 研修内容
 - (1) オリエンテーション 2日間 渡航手続、添乗員からの諸注意など
 - (2) 事前研修 3日間 英会話レッスン、マナー研修、交流会の練習など
 - (3) 海外研修 10日間 8月21日（水）から8月30日（金）
 - ・ウィットルシーセカンダリーカレッジの学生と交流会、現地校体験学習
 - ・ホームステイ 5泊 ・ウィットルシー市役所訪問 など
- 6 旅費
一人当たり642,000円（うち参加者負担金として200,000円）
- 7 成果
「グローバルな視点を学ぶことができた。」「英語力の向上を実感することができた。」などといった研修生の報告から、今回の研修での多くの経験が、生徒一人ひとりの自信に繋がり、新たなことへ果敢に挑戦する気持ちが芽生えた貴重な機会になったのではないかと考えている。



一般会計

款-項目	10-2-1	事務事業	31-0507 学校施設整備事業（小学校）	担当課等名	教育政策課
			01-1002 小学校施設整備事業（繰越明許費）		

決 算 額（円）		191,166,250	【総括】 前年度に引き続き、衛生面での環境改善を目的として、トイレ改修を実施した。 また、通学時の荷物の軽減などを目的として、教室ロッカーの改修を実施した。 今後も、大規模改造未実施校の長寿命化改良をはじめ、体育館の空調整備やエレベーター改修などの懸案事項に対応し、学校施設の環境改善を進める。
財 源 内 訳	国庫支出金	35,581,000	
	県支出金	0	
	地 方 債	86,000,000	
	そ の 他	33,983	
	一般財源	69,551,267	

【実績及び成果】

- 1 小学校トイレ改修事業（繰越明許費）（154,486,200円）
 本地原小学校及び城山小学校において、トイレを洋式化及び乾式化した。
 当該2校の改修により、すべての小中学校のトイレ改修が完了した。
- 2 小学校ロッカー等改修工事（23,155,000円）
 大規模改造未実施校の旭小学校、渋川小学校、瑞鳳小学校、旭丘小学校及び三郷小学校において、1年生の教室ロッカーを大型化した。



改修後のトイレ



改修後のロッカー

一般会計

款-項目	10-3-1	事務事業	31-0510 学校施設整備事業（中学校）	担当課等名	教育政策課
------	--------	------	-----------------------	-------	-------

決 算 額（円）		20,630,400	【総括】 夏季における熱中症対策を行うとともに、災害時における避難所としての防災機能強化を図るため、中学校の体育館や柔剣道場の空調設備整備に係る設計を委託した。 また、屋外での熱中症対策として、日除け屋根の設置を実施した。 今後も、大規模改造未実施校の長寿命化改良をはじめ、照明のLED化などの懸案事項に対応し、学校施設の環境改善を進める。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	15,200,000	
	地 方 債	0	
	そ の 他	0	
一般財源		5,430,400	

【実績及び成果】

- 1 中学校体育館等空調設備整備工事設計委託（4,620,000円）
 空調機的能力や設置位置の検討を行い、工事に対応した設計図書を作成した。
 - ・空調方式：停電対応型ガス式エアコン（都市ガス）
 - ・冷房能力：〔体 育 館〕 60馬力（室外機3台 室内機12台）
 〔柔剣道場〕 20馬力（室外機1台 室内機 4台）
- 2 中学校屋外施設整備工事（14,494,600円）
 屋外での熱中症対策を目的とした日除け屋根を3中学校に整備した。



体育館（旭中学校）



柔剣道場（旭中学校）



設置した日除け屋根（旭中学校）

一般会計

款・項目	10-1-3	事務事業	31-0110 いじめ・不登校対策推進事業	担当課等名	学校教育課
------	--------	------	-----------------------	-------	-------

決 算 額 (円)		21,406,492	〔総括〕 社会的自立に向けた支援を目的として、中央公民館内に教育支援センターを設置した。 また、校内での居場所づくりによる不登校生徒の支援を目的として、昨年度の旭中学校に引き続き東中学校に校内教育支援ルームを設置した。 今後も、不登校の改善を最重要課題とし、いじめ・不登校の問題、発達障がいの悩みなどへの新たな対応策を検討する中で、校内教育支援ルームの拡充を計画し、組織的対応の整備・強化に努める。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	2,357,000	
	地 方 債	0	
	そ の 他	0	
一般財源		19,049,492	

〔実績及び成果〕

1 主な取り組み

- ・教育支援センター内に学校以外の居場所づくりと様々な相談のできる教育支援ルーム「つくしんぼ」と教育相談「ひまわり」を設置した。（通室者数：53人、相談者数：延べ1,400人）
- ・いじめ防止等の対策を実行的に行うための「いじめ問題専門委員会」のほか、いじめ防止等に関係する機関及び団体の連携を図るための「いじめ問題対策連絡協議会」を各1回開催した。
- ・不登校傾向の児童生徒をもつ保護者懇談会「☆手と手と手☆」を年3回開催した。（参加者数：28人）
- ・いじめ防止のための「いじめ実態調査」を全児童生徒を対象に実施した。（記名式3回、無記名式1回）
- ・校内教育支援ルームを東中学校に設置した。（登録者数：36人）
- ・不登校児童生徒の社会性向上支援のためメンタルフレンドを家庭に派遣し、大学生等とのふれあい機会を提供した。（派遣回数：152回）

2 主な人的配置

- ・家庭環境や社会環境が関係する複雑な事案に対し、社会福祉的な視点で家庭や関係機関と連携し早期解決を図るため、スクールソーシャルワーカーを各中学校区に1人配置した。（6,774,000円）
- ・保護者や児童生徒、教職員の相談に対応するため、特別支援教育に造詣の深い相談員や臨床心理士の資格を持つ相談員を中央公民館に配置した。（5,400,000円）
- ・いじめ・不登校事案の未然防止や早期対応を行うため、心の教室相談員を各小中学校に1人配置した。（7,479,675円）

いじめ・不登校に係る人的配置の状況

種類		配置状況	配置人数
1	スクールソーシャルワーカー	各中学校区	3名
2	心のアドバイザー	中央公民館	6名
3	心の教室相談員	各小中学校	12名
4	不登校児童生徒対応非常勤講師	各中学校	3名
		各小学校（巡回）	2名

一般会計

款-項-目	10-2-2	事務事業	31-0101 学習支援事業（小学校）	担当課等名	学校教育課
-------	--------	------	---------------------	-------	-------

決 算 額（円）		30,563,471	【総括】 水泳指導を効果的かつ安定的に実施するため、民間プール施設を活用した水泳授業支援業務委託を前年度の小学校2校から6校に拡大した。次年度は、民間プール施設の活用をさらに拡大し、小学校全校（9校）に水泳授業支援業務委託を導入する。 また、県教育委員会から自己の生き方を考え、将来の職業や社会生活に必要な基礎知識の習得を目指す事業を受託し、キャリア教育を推進した。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	70,000	
	地 方 債	0	
	そ の 他	0	
一般財源		30,493,471	

【実績及び成果】

1 水泳授業の支援業務委託（委託料26,044,150円）

小学校6校（旭、渋川、本地原、城山、白鳳、瑞鳳）の水泳授業で、民間のプール施設を活用し、水泳指導について専門知識のあるインストラクターによる水泳指導を実施した。

2 キャリア教育の推進（委託料70,000円）

将来の生き方を考え、高い目標をもって努力し、自他のよさを伸ばし合うことができる児童を育成するため、県教育委員会から関連する事業を受託し、キャリア教育の視点を取り入れた体験活動等の取組を東栄小学校で行った。



キャリア教育（伝統文化体験）

一般会計

款・項目	10-3-2	事務事業	31-0210 部活動支援事業	担当課等名	学校教育課
------	--------	------	-----------------	-------	-------

決 算 額 (円)		7,623,780	【総括】 生徒がスポーツや文化等に親しみ、学習意欲の向上や連帯感等を培うため、中学校に講師を派遣した。 また、民間企業と連携して、令和8年4月からの中学校休日部活動の地域連携の実施にむけた課題の対応に取り組んだ。 少子化の影響などからこれまでと同様の体制で運営し続けることが難しいため、今後は、適正な部活動の運営と指導方針の見直しを行う。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	0	
	そ の 他	0	
一般財源		7,623,780	

【実績及び成果】

- 1 学校教職員による休日部活動の指導を令和8年3月までに廃止し、4月からは引き続き指導を希望する教職員や地域の方の協力（地域連携）による部活動に変更することを定めた。
- 2 中学校休日部活動の地域連携の実施にむけ、部活動外部指導者の募集や配置に伴う事務に関して、令和7年1月に民間企業と協定を締結し、翌月から3月まで西中学校において実証実験を実施した。
<実験対象部活動>
剣道、バレーボール、ソフトボール
- 3 指導者の派遣
 - ・ 外部講師（謝礼5,150,500円）
地域の経験者等の方々に部活動の技術的な指導を依頼し各中学校に派遣した。（延べ39人）
<派遣部活動>
剣道、卓球、バスケットボール、バレーボール、サッカー、ソフトボール、陸上、弓道、吹奏楽、美術
 - ・ 部活動指導員（会計年度任用職員）
各中学校の部活動の指導体制の充実を図るため、部活動指導員を任用し配置した。（延べ10人）
<配置部活動>
剣道（2人）、ソフトボール、弓道、バレーボール（2人）、野球、箏曲、パソコン、吹奏楽



バレーボール活動の様子

一般会計

款-項目	10-4-1	事務事業	31-0301 学校給食センター運営事業	担当課等名	学校給食センター
			01-1004 学校給食センター運営事業（繰越明許費）		

決 算 額（円）		547,438,916	【総括】 安全安心な給食を提供するため、民間事業者が有するスキルやノウハウを生かして衛生管理の徹底を行い、効率的に運営した。 栄養基準を満たす多様なメニューとアレルギー等の対応給食を適切に提供した。 給食材料費高騰分を公費で負担し、栄養や質及び量を保った給食を提供した。 食育の拠点施設として、学校給食センターにおいて食育推進事業を実施した。 今後も、安全で安心な給食の提供や事故防止の徹底に努める。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	0	
	そ の 他	335,812,570	
	一般財源	211,626,346	

【実績及び成果】

- 小学校9校、中学校3校への学校給食の提供
 - 年間給食提供日数（食数）：190日（1,297,185食）
 - 年間給食提供メニュー数：298品（うち新メニュー27品）
- アレルギー等の対応給食の提供
 - 年間アレルギー対応給食提供食数：5,358食（対象者75人）〔対応アレルゲン：卵、乳〕
 - 調製豆乳提供食数：1,093食（対象者7人）〔乳アレルギーではないが飲用牛乳の摂取で体調不良等を引き起こす児童生徒を対象〕
 - 「あさびースマイル給食」の実施：月に2回（8月を除く）〔副食から8大アレルゲンを除去した給食を提供〕
 - 「もっと！あさびースマイル給食28」の実施：12月 〔副食からアレルゲン特定原材料等28品目を除去した給食を提供〕
- 児童生徒給食材料費高騰分の公費負担（58,696,994円）
 - 約50円/1食当たり
- 食育の推進を目的とした講演会の開催（参加者：延べ71人）
 - 第1回 演題：食物アレルギー 家庭・外食と学校での対応
講師：うりすクリニック 宇理須厚雄名誉院長
 - 第2回 演題：学校給食を通して学ぶ 人生100年時代の健康な食事とは
講師：金城学院大学 平田なつひ准教授
- 学校へ安全に給食を配送するため、給食配送車を1台更新した。9,779,000円（繰越明許費）



もっと！あさびースマイル給食28

一般会計

款-項目	10-5-1	事務事業	33-0305 生涯学習活動推進事業	担当課等名	生涯学習課
------	--------	------	--------------------	-------	-------

決 算 額 (円)		3, 791, 692
財 源 内 訳	国庫支出金	0
	県支出金	0
	地 方 債	0
	そ の 他	223, 100
	一般財源	3, 568, 592

〔総括〕

30回目となる生涯学習フェスティバルを記念して、オープニングイベントで「青木さやかさんによる講演会」と「ピアノとヴァイオリンによるクラシックコンサート」を実施した。
今後も引き続き、市民に生涯学習のきっかけづくりの場を提供し、生涯学習の推進を図る。

〔実績及び成果〕

- 1 生涯学習フェスティバルとして、尾張旭市公民館まつり等を開催した。（参加者のべ4,600人）
- ・事業数：21事業（うち救命講習定期開催は中止）
 - ・主な事業：スカイワードあさひ星の会天体写真展、「あさひ春クラ」～地元音楽家によるクラシック祭り～、舞踊部会発表会 等
- 2 生涯学習フェスティバルオープニングイベント「講演会」と「クラシックコンサート」を開催した。（706,846円…多様性推進課予算200,000円、生涯学習課予算506,846円）
- ・第1部：男女共同参画推進フォーラム共催「青木さやかさんによる講演会」
テーマ「母として娘として～尾張旭から芸能界へ～テレビのここだけの話」
 - ・第2部：ピアノとヴァイオリンによるクラシックコンサート
出演：ピアニスト 岡 里歌子さん、
ヴァイオリニスト 大倉 彰人さん
曲目：ワックスマン／カルメン幻想曲
モーツァルト／ヴァイオリンソナタK.304他
-



一般会計

款-項目	10-5-3	事務事業	33-0303 公民館整備事業	担当課等名	生涯学習課
------	--------	------	-----------------	-------	-------

決 算 額 (円)		32,116,126	【総括】 令和6年度は、指定避難所である中央公民館と地区公民館の環境改善のため、トイレ改修工事の設計を委託した。 今後は、設計を基に改修工事を実施し、利用者の利便性向上と感染症対策等、安全・安心なトイレ整備を行い、避難所としての環境改善を図る。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	16,100,000	
	そ の 他	0	
	一般財源	16,016,126	

【実績及び成果】

- 1 公民館トイレ改修工事設計委託
令和7年度の改修工事の実施に向け、設計を委託した。(16,788,200円)
- 2 対象施設
指定避難所である中央公民館及び地区公民館7館（藤池、瑞鳳、平子、本地原、渋川、白鳳、旭丘）
- 3 設計内容
 - ・大便器の洋式化及び温水洗浄暖房便座設置
 - ・床の段差解消及び乾式化
 - ・多目的トイレの扉の改修（軽量化）
 - ・照明設備改修（LED化、人感センサー化）
 - ・給排水設備改修 …等



中央公民館1階トイレ（現在）

一般会計

款-項目	10-5-6	事務事業	34-0301 文化会館維持管理事業	担当課等名	文化スポーツ課（生涯学習課）
			01-1005 文化会館維持管理事業（繰越明許費）		

決 算 額（円）		78,373,197	【総括】 令和6年度は、多くの事業の開催を通じて市民の文化、教養及び福祉の増進を図った。また、来場されない方でもイベントを楽しめるようにするため、引き続き市民音楽祭や市民芸能発表大会等でインターネット配信を行った。 今後も、文化芸術活動の拠点施設として、文化会館の管理運営に指定管理者制度を活用し、市民サービスの向上や運営の効率化を図る。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	0	
	そ の 他	0	
	一般財源	78,373,197	

【実績及び成果】

- 指定管理施設
 指定管理者：ATFフォーティーエイトグループ
 指定期間：令和6年度～令和10年度
 指定管理料：75,882,930円
 年間利用者：84,187人（ホワイエ開放125日、入場者2,122人を含む）
- 多くの自主文化事業を開催し、市民の文化、教養及び福祉の増進を図った。【14事業（開催回数22回）、入場者7,707人】
 - ・ホワイエで自由に演奏しませんか？
 - ・大ホールでスポットライトをあびちゃおう
 - ・芸術展（全6回、コラボ企画ロビーコンサート有）
 - ・Jazzy Flamenco Night
 - ・夏休み絵画ワークショップ
 - ・第4回あさびー音楽会（「あさびー絵画コンクール」同時開催）
 - ・冬の絵画ワークショップ
 - ・クリスマスロビーコンサート
 - ・ニューイヤーコンサート
 - ・岡野兄弟/陽影月-HIKAGETSU-コンサート …等

一般会計

款・項目	10-6-2	事務事業	34-0305 スポーツ施設管理運営事業	担当課等名	文化スポーツ課（健康都市・スポーツ課）
------	--------	------	----------------------	-------	---------------------

決 算 額（円）		122,230,210	【総括】 スポーツ施設の管理運営に指定管理者制度を活用することで、民間のノウハウを活用し、住民サービスの向上及び運営の効率化を図った。 また、物価高騰対策として指定管理施設の電気料金を補助し、指定管理者を支援した。 今後も、スポーツ施設の適正な維持管理に努め、安全で快適なスポーツ施設の利用を推進する。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地 方 債	16,400,000	
	そ の 他	6,156,180	
	一般財源	99,674,030	

【実績及び成果】

- 城山野球場改修工事
城山野球場の内野について、グラウンドや雨水排水設備などの整備を行った。
水はけが良くなることでグラウンドの状態を良好に保つことができるようになった。
工事費：21,915,300円
- 指定管理施設
指定管理者：ハマダスポーツ企画株式会社
指定期間：令和4年度～令和8年度
指定管理料：78,046,401円
利用者数：422,782人
- 光熱費の高騰により影響を受けている指定管理者に補助金を交付した。
指定管理施設光熱費等高騰対策補助金（3,189,000円）
- 市民プールリニューアル
令和6年4月に尾張旭市にゆかりのある50代の会社経営者から市に対して寄附の提案があり、関係各課の職員で構成するプロジェクトチームを設置し、検討した。
令和6年11月に寄附申出者が工事等を直接実施することを基本として市と寄附申出者とで基本合意を締結した。その後基本合意に基づき、細目を定める「覚書」を令和7年3月に締結した。
令和7年夏の営業は休止し、令和8年夏にリニューアルオープン予定。



1 城山野球場改修工事完了後

5 定額運用基金の状況

尾張旭市土地開発基金

(単位：円)

電機・電器・電機関係基金

区分		決算年度当初現在高		決算年度中増減高				決算年度末現在高	
				増		減			
現金	預金	149,884,014		43,780,461		0		193,664,475	
	運用利子等	0		1,240,180		1,240,180		0	
土地	件数・面積	10件	5,316.62㎡	0件	0.00㎡	2件	1,363.21㎡	8件	3,953.41㎡
	価格	263,047,601		0		42,540,281		220,507,320	
合計		412,931,615		45,020,641		43,780,461		414,171,795	

(土地内訳表)

番 号	名 称	地 積 (㎡)	金 額 (円)	年 月 日	摘 要
		取得面積	貸付金額	貸付年月日	
		処分面積	償還金額	償還年月日	
25-1	公共施設用地	976.00	88,425,600	H25.12.13	
29-2	三郷駅前広場用地	223.46	27,038,660	H29.6.15	
30-1	三郷駅前広場用地	61.69	6,970,970	H30.10.15	
30-2	都市計画道路霞ヶ丘線用地	502.21	39,724,811	H30.8.27	
		△ 502.21	△ 39,724,811	R6.11.8	
30-3	三郷駅前広場用地	127.93	14,839,880	H31.3.12	
01-1	自然とふれあえる森づくり事業用地	861.00	2,815,470	R1.12.12	
		△ 861.00	△ 2,815,470	R6.11.8	
03-1	都市計画道路平子線用地	423.00	10,278,900	R4.2.15	
04-2	三郷駅前広場用地	167.33	21,250,910	R4.11.16	
04-3	三郷駅前広場用地	146.00	18,250,000	R4.11.30	
05-1	都市計画道路平子線用地	1,828.00	33,452,400	R5.11.17	
計		5,316.62	263,047,601		
		△ 1,363.21	△ 42,540,281	令和6年度償還分	
令和6年度末貸付		3,953.41	220,507,320		

6 資 料 編

- 市税等収納状況明細表
- 有料公共施設使用状況等明細表
- 物価高騰等対策事業明細表
- まちづくり応援寄附金事業別充当実績明細表
- チャレンジ事業明細表

市税等収納状況明細表

(1) 市税 (一般会計)

(単位 円)

款・項・目・節	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C) (うち還付未整理金(D))	不納欠損額 (E)	収入未済額 (B)-(C)-(E)	収納率 (C-D)/(B)	
						前年度	
01 市税	12,665,200,000	12,970,092,974	12,800,912,221 (640,072)	7,165,989	162,014,764	98.69%	98.65%
01 市民税	5,931,000,000	6,147,546,817	6,034,603,462 (618,072)	6,201,755	106,741,600	98.15%	98.05%
01 個人	5,400,000,000	5,546,100,717	5,436,463,562 (292,672)	6,151,755	103,485,400	98.02%	97.97%
01 現年課税分	5,370,000,000	5,436,921,262	5,398,122,404 (292,672)	864,118	37,934,740	99.28%	99.19%
02 滞納繰越分	30,000,000	109,179,455	38,341,158	5,287,637	65,550,660	35.12%	28.39%
02 法人	531,000,000	601,446,100	598,139,900 (325,400)	50,000	3,256,200	99.40%	99.10%
01 現年課税分	530,000,000	598,494,700	596,957,800 (325,400)	0	1,536,900	99.69%	99.69%
02 滞納繰越分	1,000,000	2,951,400	1,182,100	50,000	1,719,300	40.05%	27.24%
02 固定資産税	4,948,000,000	5,029,080,443	4,985,961,827 (17,970)	470,314	42,648,302	99.14%	99.18%
01 固定資産税	4,936,000,000	5,017,259,543	4,974,140,927 (17,970)	470,314	42,648,302	99.14%	99.18%
01 現年課税分	4,921,000,000	4,978,606,000	4,957,623,919 (17,970)	0	20,982,081	99.58%	99.68%
02 滞納繰越分	15,000,000	38,653,543	16,517,008	470,314	21,666,221	42.73%	37.55%
02 国有資産等所在市町村 交付金	12,000,000	11,820,900	11,820,900	0	0	100.00%	100.00%
01 現年課税分	12,000,000	11,820,900	11,820,900	0	0	100.00%	100.00%

(単位 円)

款・項・目・節		予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C) (うち還付未整理金(D))	不納欠損額 (E)	収入未済額 (B)-(C)-(E)	収納率 (C-D)/(B)	
							前年度	
03	軽自動車税	189,700,000	199,735,829	195,562,017	388,434	3,785,378	97.91%	97.55%
	01 環境性能割	15,600,000	20,624,000	20,624,000	0	0	100.00%	100.00%
	01 環境性能割	15,600,000	20,624,000	20,624,000	0	0	100.00%	100.00%
	02 種別割	174,100,000	179,111,829	174,938,017	388,434	3,785,378	97.67%	97.38%
	01 現年課税分	173,000,000	175,126,000	173,717,003	12,000	1,396,997	99.20%	99.13%
	02 滞納繰越分	1,100,000	3,985,829	1,221,014	376,434	2,388,381	30.63%	22.50%
04	市たばこ税	490,000,000	469,135,286	469,135,286	0	0	100.00%	100.00%
	01 市たばこ税	490,000,000	469,135,286	469,135,286	0	0	100.00%	100.00%
	01 現年課税分	490,000,000	469,135,286	469,135,286	0	0	100.00%	100.00%
05	都市計画税	1,106,500,000	1,124,594,599	1,115,649,629 (4,030)	105,486	8,839,484	99.20%	99.17%
	01 都市計画税	1,106,500,000	1,124,594,599	1,115,649,629 (4,030)	105,486	8,839,484	99.20%	99.17%
	01 現年課税分	1,103,000,000	1,115,925,000	1,111,945,031 (4,030)	0	3,979,969	99.64%	99.67%
	02 滞納繰越分	3,500,000	8,669,599	3,704,598	105,486	4,859,515	42.73%	37.55%

(2) 国民健康保険税 (国民健康保険特別会計)

(単位 円)

款・項・目・節	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C) (うち還付未整理金(D))	不納欠損額 (E)	収入未済額 (B)-(C)-(E)	収納率 (C-D)/(B)	
						前年度	
01 国民健康保険税	1,486,600,000	1,699,515,459	1,503,803,022 (1,282,200)	11,508,646	184,203,791	88.41%	87.73%
01 国民健康保険税	1,486,600,000	1,699,515,459	1,503,803,022 (1,282,200)	11,508,646	184,203,791	88.41%	87.73%
01 一般被保険者国民健康保険税	1,486,400,000	1,699,045,159	1,503,332,722 (1,282,200)	11,508,646	184,203,791	88.41%	87.78%
01 医療給付費分現年課税分	930,000,000	989,425,453	951,729,828 (902,013)	100,900	37,594,725	96.10%	95.65%
02 後期高齢者支援金分現年課税分	359,000,000	381,140,247	366,515,877 (215,937)	38,400	14,585,970	96.11%	95.71%
03 介護納付金分現年課税分	138,000,000	146,088,300	138,621,516 (150,850)	37,600	7,429,184	94.79%	93.81%
04 医療給付費分滞納繰越分	38,900,000	122,683,090	30,510,045 (9,703)	7,812,050	84,360,995	24.86%	21.13%
05 後期高齢者支援金分滞納繰越分	12,900,000	37,942,403	10,267,502 (3,697)	2,072,818	25,602,083	27.05%	23.15%
06 介護納付金分滞納繰越分	7,600,000	21,765,666	5,687,954	1,446,878	14,630,834	26.13%	25.04%
02 退職被保険者等国民健康保険税	200,000	470,300	470,300	0	0	100.00%	2.64%
01 医療給付費分滞納繰越分	130,000	303,911	303,911	0	0	100.00%	2.58%
02 後期高齢者支援金分滞納繰越分	30,000	80,150	80,150	0	0	100.00%	2.61%
03 介護納付金分滞納繰越分	40,000	86,239	86,239	0	0	100.00%	2.88%

(3) 介護保険料（介護保険特別会計）

（単位 円）

款・項・目・節	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C) (うち還付未整理金(D))	不納欠損額 (E)	収入未済額 (B)-(C)-(E)	収納率 (C-D)/(B)	
						前年度	
01 保険料	1,499,690,000	1,524,385,813	1,509,050,213 (1,087,000)	4,663,900	10,671,700	98.92%	98.74%
01 介護保険料	1,499,690,000	1,524,385,813	1,509,050,213 (1,087,000)	4,663,900	10,671,700	98.92%	98.74%
01 第1号被保険者保険料	1,499,690,000	1,524,385,813	1,509,050,213 (1,087,000)	4,663,900	10,671,700	98.92%	98.74%
01 現年度分特別徴収 保険料	1,381,000,000	1,379,976,400	1,380,949,000 (972,600)	0	△ 972,600	100.00%	100.00%
02 現年度分普通徴収 保険料	117,000,000	132,664,400	126,729,100 (42,300)	0	5,935,300	95.49%	94.33%
03 滞納繰越分普通徴 収保険料	1,690,000	11,745,013	1,372,113 (72,100)	4,663,900	5,709,000	11.07%	11.17%

(4) 後期高齢者医療保険料（後期高齢者医療特別会計）

（単位 円）

款・項・目・節	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C) (うち還付未整理金(D))	不納欠損額 (E)	収入未済額 (B)-(C)-(E)	収納率 (C-D)/(B)	
						前年度	
01 保険料	1,477,000,000	1,478,997,900	1,471,988,700 (1,065,600)	647,100	6,362,100	99.45%	99.55%
01 後期高齢者医療保険料	1,477,000,000	1,478,997,900	1,471,988,700 (1,065,600)	647,100	6,362,100	99.45%	99.55%
01 被保険者保険料	1,477,000,000	1,478,997,900	1,471,988,700 (1,065,600)	647,100	6,362,100	99.45%	99.55%
01 現年度分特別徴収 保険料	727,000,000	725,133,600	725,948,000 (814,400)	0	△ 814,400	100.00%	100.00%
02 現年度分普通徴収 保険料	747,000,000	748,312,100	743,436,100 (251,200)	0	4,876,000	99.31%	99.38%
03 滞納繰越分普通徴 収保険料	3,000,000	5,552,200	2,604,600	647,100	2,300,500	46.91%	45.93%

有料公共施設使用状況等明細表

施設名	使用状況			使用料			管理コスト (円) ②	①/② (%)
	年間利用コマ数	年間最大コマ数	稼働率 (%)	徴収 (円) ①	減免 (円)	合計 (円)		
文化会館	3,854	9,180	42.0	(17,273,160)	(5,682,930)	(22,956,090)	95,712,357	18.0
どうだん亭	1,433	8,016	17.9	426,675	54,300	480,975	4,839,229	8.8
総合体育館	28,381	32,154	88.3	(15,464,930)	(751,970)	(16,216,900)	79,030,535	19.6
弓道場	4,350	12,550	34.7	(476,120)	(23,500)	(499,620)	805,922	59.1
城山公園 スポーツ施設	4,725	11,318	41.7	(3,354,810)	(619,205)	(3,974,015)	7,152,080	46.9
市民プール	-	-	-	(3,679,980)	(0)	(3,679,980)	11,486,227	32.0
旭ヶ丘運動広場	4,939	12,118	40.8	(1,959,720)	(41,820)	(2,001,540)	3,872,698	50.6
晴丘運動広場	7,585	11,845	64.0	(4,155,260)	(125,480)	(4,280,740)	5,068,829	82.0
南グラウンド	1,856	4,086	45.4	(4,314,350)	(761,680)	(5,076,030)	5,354,158	80.6
旭城	420	4,284	9.8	(143,600)	(24,400)	(168,000)	6,037,237	2.4
尾張あさひ苑	2,095	5,712	36.7	(22,830,397)	(0)	(22,830,397)	61,835,397	36.9
東部市民センター	12,034	41,418	29.1	(4,988,200)	(1,179,445)	(6,167,645)	42,623,098	11.7
澁川福祉センター	13,513	35,490	38.1	(6,354,590)	(2,703,175)	(9,057,765)	48,032,107	13.2
新池交流館ふらっと	21,584	37,024	58.3	(6,832,315)	(846,115)	(7,678,430)	38,489,430	17.8
スカイワードあさひ	18,395	46,410	39.6	(3,984,450)	(3,770,400)	(7,754,850)	56,036,787	7.1
中央公民館	33,530	102,102	32.8	6,437,135	3,145,970	9,583,105	57,420,013	11.2
三郷公民館	2,382	23,140	10.3	400,220	262,430	662,650	11,836,000	3.4
藤池公民館	4,344	18,512	23.5	1,150,110	253,640	1,403,750	13,550,660	8.5
瑞鳳公民館	5,108	32,396	15.8	631,460	573,340	1,204,800	15,279,654	4.1
平子公民館	2,888	18,512	15.6	717,280	349,270	1,066,550	13,778,276	5.2

施設名	使用状況			使用料			管理コスト (円) ②	①/② (%)
	年間利用コマ数	年間最大コマ数	稼働率 (%)	徴収 (円) ①	減免 (円)	合計 (円)		
本地原公民館	2,603	18,512	14.1	819,680	172,790	992,470	13,238,565	6.2
渋川公民館	6,255	27,768	22.5	1,855,180	461,640	2,316,820	14,681,181	12.6
白鳳公民館	3,253	18,512	17.6	719,830	239,970	959,800	15,394,957	4.7
旭丘公民館	4,237	18,512	22.9	1,300,500	410,500	1,711,000	14,080,836	9.2
宮浦公民館	2,879	23,205	12.4	402,635	306,310	708,945	11,936,325	3.4
旭ヶ丘ふれあい会館	1,162	4,641	25.0	461,725	154,550	616,275	1,423,000	32.4
大久手ふれあい会館	942	9,282	10.1	18,600	141,200	159,800	1,218,785	1.5
吉岡ふれあい会館	799	9,282	8.6	50,550	127,850	178,400	1,576,781	3.2
印場ふれあい会館	1,694	9,282	18.3	676,130	118,800	794,930	2,180,480	31.0
霞ヶ丘ふれあい会館	829	9,282	8.9	209,850	220,550	430,400	1,699,766	12.3
東印場ふれあい会館	3,430	9,282	37.0	1,122,805	172,550	1,295,355	2,264,205	49.6
北本地ヶ原ふれあい会館	1,565	13,923	11.2	470,640	93,300	563,940	1,872,861	25.1
多世代交流館いきいき	3,030	6,870	44.1	384,120	276,800	660,920	4,082,258	9.4
城山コミュニティセンター	1,263	3,580	35.3	(437,050)	(43,500)	(480,550)	4,734,531	9.2
合計	207,357	648,200	32.0	18,255,125 (96,248,932)	7,535,760 (16,573,620)	25,790,885 (112,822,552)	668,625,225	17.1

※使用料欄の（ ）は指定管理者の収入

※年間利用コマ数とは、施設の利用時間の単位をコマとして、1年間で実際に利用があったコマ数

※年間最大コマ数とは、施設の利用時間の単位をコマとして、1年間で利用可能な最大コマ数

※管理コストは、尾張旭市公共施設カルテに記載の支出のうち、工事請負費を除いた額に、指定管理施設については、収入の指定管理者利用料金収入を加算した額

物価高騰等対策事業明細表

(1) 対策事業一覧

単位：円

No	事業名	担当課等名	事業費	臨時交付金※ 充当額
1	定額減税補足給付金	税務課・人事課	674,810,583	674,810,583
2	省エネ設備投資促進補助金	産業課	29,015,000	27,564,000
3	塵芥収集委託事業者物価高騰対策補助金	環境事業センター	326,000	310,000
4	住民税非課税世帯等価格高騰給付金	福祉政策課・人事課	364,174,462	364,126,217
5	賄材料費高騰分公費負担（保育園）	保育課	4,986,775	4,488,000
6	民間保育所等給食費軽減対策支援金	保育課	7,958,500	5,200,000
7	市営バス燃料費等高騰対策補助金	都市計画課	999,000	949,000
8	公共下水道事業会計電力価格高騰対策補助金	経営政策課	16,000,000	15,200,000
9	賄材料費高騰分公費負担（小・中学校）	学校給食センター	58,696,994	52,498,000
10	指定管理施設光熱費等高騰対策補助金	暮らし政策課ほか	9,875,000	9,383,000
11	公共施設光熱費高騰分	暮らし政策課ほか	40,095,718	21,153,000

(2) 総事業費及び財源内訳

単位：円

物価高騰対策 総事業費	財源内訳				
	国庫支出金 (うち臨時交付金※)	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,206,938,032	1,175,681,800 (1,175,681,800)	2,693,000	0	0	28,563,232

※ 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

まちづくり応援寄附金事業別充当実績明細表

(単位 円)

使い道事業	令和6年度 充当額 (①+②)	まちづくり応援基金 からの充当額①	令和6年度 まちづくり応援寄附金 からの充当額②	まちづくり応援基金 への積立額	令和6年度末 まちづくり応援基金 残高
吉賀池湿地等貴重な自然環境の保全や再生可能エネルギーの推進など、地球にやさしいまちづくりを推進します。	4,558,000	310,000	4,248,000	0	0
尾張旭市の棒の手や円空仏、どうだん亭等、文化と伝統を後世代へ継承します。	1,012,000	70,000	942,000	0	0
学習資材の提供や、小中学校施設整備等を実施し、子どもたちの学習環境の改善を図ります。	5,574,000	390,000	5,184,000	0	0
災害に強いまちづくりを推進します。	1,608,000	110,000	1,498,000	0	0
交通事故等から市民を守るため、安全・安心な道路環境づくりを推進します。	927,000	60,000	867,000	0	0
遊具等の更新や保育園等の施設整備を実施し、子育て施設の環境を向上します。	872,000	60,000	812,000	0	0
市長におまかせ（自主財源確保や市PR事業などに活用）	13,852,000	0	13,852,000	1,000,427	1,189,109
合 計	28,403,000	1,000,000	27,403,000	1,000,427	1,189,109
			28,403,427 ※R6寄附金額と基金運用益積立金の合計		

※ まちづくり応援基金への積立額及び令和6年度末まちづくり応援基金残高には、まちづくり応援基金運用益を含んでいる。

チャレンジ事業明細表

(単位 円)

No.	事業名	実施内容	決算額	担当課 (R7担当課)
1	学校ホリデースポーツフェスタ事業	学校ホリデーに合わせ、子どもや家族と一緒に楽しめるようなイベントを企画し、コラボ企画等を実施した。	249,820	文化スポーツ課 (健康都市・スポーツ課)
2	あさぴー20周年お祝い事業	あさぴー20周年を記念したオフィシャルぬいぐるみを作成し、各種イベントやあさぴートレインなどで活用した。	419,100	広報戦略課
3	あさぴー20周年お誕生日会事業	市民の愛着の醸成を図るため、20周年を迎えるあさぴーのお誕生日会を実施した。	699,600	広報戦略課
4	市役所庁舎BGM導入事業	来庁者へのサービス向上及び職員の職場環境の改善を図るため、市役所庁舎においてBGM放送を試行的に実施した。(令和5～7年度実施事業)	72,820	総務課
5	トンガ王国との交流事業	トンガ王国との交流事業として、市民祭での紹介ブース設置や瑞鳳小学校5年生を対象にトンガの暮らしと文化を学び環境問題を考える特別授業を実施した。	412,700	多様性推進課
6	ふるさと大使事業(産業課実施分)	尾張旭の魅力を発信し、にぎわいの創出やイメージアップを図るため、本市出身のDA PUMPのTOMO氏に「尾張旭市ふるさと大使」を委嘱した。	2,123,409	産業課
7	産業振興ネットワーク形成事業	地域経済の活性化に向けて、様々な関係者が新たなビジネスの創出につなげられるようなネットワークの形成を目指して、交流会を開催した。	591,360	産業課
8	飲食店応援同窓会補助事業	飲食店の事業継続や成長、魅力ある飲食店づくりを応援することを目的として、市内飲食需要の喚起や市外への消費流出抑制を図るため、若い世代が市内の登録店舗で開催する同窓会の経費を補助する事業を行った。	41,000	産業課
9	おいしい紅茶のまちアンバサダー事業	来客等に対して、まちの紹介や紅茶の提供により、「おいしい紅茶のまち尾張旭」のPRに協力いただける企業や団体を「おいしい紅茶のまちアンバサダー」として認定し、まちの魅力の認知拡大を図った。	999,300	産業課

チャレンジ事業明細表

(単位 円)

No.	事業名	実施内容	決算額	担当課 (R7担当課)
10	着地型観光商品開発事業	にぎわいの創出と交流人口の拡大のため、尾張旭市の見どころを巡るツアーを造成し、「旅ろっ！愛知」のウェブサイトで販売を開始した。	799,700	産業課
11	若年層向け生ごみ減量講習会事業	主に若者を対象として、家庭で簡単にできる生ごみの減量方法が学べる講習会を実施した。	207,760	環境課
12	福祉共生型ゲーム制作事業	子どもたちがゲームを楽しみながら障がい者と介助者の立場を体験し、協力して物事を達成する喜びを学べるゲームを制作した。	572,000	福祉課 (地域福祉課)
13	らくらく筋トレ体操20周年記念事業	らくらく筋トレ体操の20周年記念大会・講演会を開催し、らくらく筋トレ体操の活動紹介や長期継続者のインタビューなどを実施した。	339,750	健康課
14	祖父母世代のための孫育て応援事業	孫育て世代が、孫やその親たちとの心地よい関係を築いていくために活用できるガイドブックとして、オリジナルの祖父母手帳を作成した。	271,586	こども未来課
15	保育園見学ツアー実施事業	子育て支援事業の推進に必要な保育人材を確保し、市民サービスの向上につなげるため、保育施設での就労希望者を対象とした公立保育園見学ツアーを実施し、保育士の本市への就業促進を図った。	49,874	こども未来課
16	絵本寄贈募集事業	各家庭で読まなくなった絵本を市に寄贈していただき、保育園や児童館に配布することで、子どもたちに、より多くの絵本と触れ合う機会を創出した。	41,482	こども未来課
17	あさぴー体操リニューアル配信事業	市制40周年時に保育士有志が考案した「あさぴー体操」を園児、保護者、地域の誰もが楽しめるようリニューアルし、あさぴー20周年お誕生日会や市公式YouTubeチャンネルで披露した。	510,225	保育課
18	児童館開館時間延長事業	中高生までの子どもの居場所の拡大に向けて、児童館の開館時間延長を試行した。	91,206	こども課

チャレンジ事業明細表

(単位 円)

No.	事業名	実施内容	決算額	担当課 (R7担当課)
19	子育て支援センターあそび空間整備事業	子育て世代にとって、楽しく過ごせる魅力的な場所となるよう、子育て支援センター内に木製の大型玩具及び手先の発達を促す小型玩具を導入し室内環境を充実させた。	461,410	子育て相談課 (こども家庭課)
20	下水道マンホール蓋を活用したPR事業	あさぴー&健康都市20周年とコラボした下水道マンホール蓋を市役所バスロータリー東側に設置し、下水道のPRを実施した。	99,000	下水道課
21	消防グッズ製作事業	廃棄する防火服等から消防グッズ「消防まもり」を製作し、販売することで話題性を創出するとともに、本市の魅力を発信した。	312,936	消防署
22	学校給食紹介映像制作事業	食材の納品、給食の残さいや飲み残り牛乳の処理の様子など、給食調理過程等を撮影した紹介映像を制作し、施設見学やイベントの開催時等に活用することで食育の推進を図った。	495,000	学校給食センター
23	デジタルミュージアム事業	本市の文化財のPRや教育現場等での文化的資料の有効活用のため、市公式ホームページ上にデジタルミュージアムを構築し、市内外へPRを実施した。	1,518,000	文化スポーツ課 (生涯学習課)